

フロント装着式モア用 60、72 in 側方排出
型デッキ、62、72 in 後方排出型デッキ、
60、72 in GLC 側方排出型デッキ
シリアル番号 090001〜



JOHN DEERE

取扱説明書

フロント装着式モア用側方排出型およ
び後方排出型モアデッキ

OMUC33510 A5 版 (JAPANESE)

John Deere Turf Care

輸出版

Printed in U.S.A.

概要

John Deere の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます

弊社はお客様に感謝し、末永く機械を安全に満足してご利用いただけるよう願っています。

MX00654,000020B-40-10MAY17

取扱説明書の使用

作業を行う前に、オペレータマニュアル全体、特に安全関連の情報を確認してください。

このマニュアルは、お使いの作業機の重要な構成要素となります。すべてのマニュアルを手の届きやすい場所に保管してください。

作業機のオペレータマニュアルとともに、アタッチメントのオペレータマニュアルに記載されている安全および操作関連の情報を参照し、アタッチメントを安全かつ正しく整備し操作してください。

アタッチメントのマニュアルに「作業機の準備」というセクションが含まれている場合は、アタッチメントを取り付ける前にお使いのトラクターまたは車両に対して何らかの準備が必要となります。このマニュアルの「組み立ておよび取り付け」のセクションには、お使いのトラクターまたは車両にアタッチメントを組み立てて取り付けるための情報が記載されています。お使いのアタッチメントに必要な調整やルーチン作業の整備を行う場合は、「整備」のセクションを参照してください。

この装置の組み立て、取り付け、または操作に関するお問い合わせは、お近くの John Deere 取扱店にご連絡いただくか、John Deere Customer Contact Center (1-800-537-8233) にお電話ください。

John Deere 製アタッチメントの保証に関する情報は、お使いの John Deere 製トラクターまたは車両に付属している保証書でご確認いただけます。

TH84124,00000D9-40-23MAY13

業務用

このノンロード移動機械は業務用として利用できます。

MK71445,0000004-40-29AUG18

機械の用途

この機械は、一般的な芝生の芝刈り作業にのみ用いるよう設計されています。他の方法に使用すると、使用目的に反していると思えます。

メーカーは、このような誤使用の結果として生じた損傷やけがについて一切責任を負いません。これらの危険はすべてユーザーが負う必要があります。また、メーカーの指定する操作、整備、修理の条件を順守し、厳密に従うことも使用目的の必須要素です。

本機の操作、整備および修理は、本機のすべての特性を理解し、関連する安全上の規則（事故の防止策）を熟知している者に限り行うことができます。事故防止規則、一般的に認められている安全衛生上の規則、交通法規を常に順守する必要があります。

製造時の仕様を超える燃料供給の設定や出力の超過を行った場合、本機の保証対象外となる場合があります。

この機械を勝手に改造した場合、その結果として生じる損傷やけがに対してメーカーはすべての責任を免除されます。

60 および 72 in MCS デッキは MCS なしでも使用できますが、MCS は他のデッキとともに使用することはできません。

OUMX068,0001027-40-10MAY16

メッセージ

このマニュアルには、潜在的な安全上の懸念、機械の損傷に注意をうながす特殊なメッセージに加え、役に立つ運転情報や整備情報が掲載されています。すべての情報を注意深く読み、けがや機械の損傷を防止してください。



注意：けがを防止してください。この記号とテキストは、危険要素や手順を無視した場合に発生する可能性がある、オペレータや近くにいる人の潜在的な危険または死亡事故の可能性について強調しています。

重要：損傷を防止してください。このテキストは、機械の損傷の原因になる可能性があるオペレータの操作や条件を伝えるために使用されています。

注記：オペレータが機械を運転または整備するときに役立つ一般情報は、このマニュアル全体にわたって掲載されています。

MX00654,000020D-40-05JUN17

整備関連文書

この機械のパーツカタログやテクニカルマニュアルのコピーをお求めの場合は、次の John Deere Technical Information Store にアクセスしてください：

<https://techpubs.deere.com/>

または、次の連絡先までご連絡ください：

- **米国&カナダ：**1-800-522-7448.
- **上記の国を除く全地域：**最寄りの John Deere 取扱店。

TH84124,0000199-40-29JUN22

部品

John Deere 取扱店から入手可能な John Deere の高品質部品および潤滑剤をお勧めします。

部品を注文される場合、John Deere 取扱店はお客様の機械やアタッチメントのシリアル番号や製品識別番号を必要とします。これらの番号は、このマニュアルの「製品識別」セクションに記録した番号です。

整備部品のオンライン注文

インターネット経由の部品の注文と情報については、<https://partscatalog.deere.com/jdrc/> にアクセスしてください。

TC00531,00000E9-40-14JUN23

目次

目次

概要.....	2
製品識別.....	3
安全ラベル (説明文なし).....	4
安全.....	7
車両の準備.....	8
組み立て.....	8
取り付け.....	10
取り外しと保管.....	16
操作.....	17
整備間隔.....	23
潤滑関連の整備.....	23
モアの整備.....	26
トラブルシューティング.....	33
仕様.....	33
法規遵守の宣言.....	35
John Deere 品質に関する声明.....	36
索引.....	38

製品識別

製品の互換性

モアは、1400、1500 シリーズフロントモア、および 1550、1570、1575、1580、1585 TerrainCut™ フロントモアと互換性があります。

MX00654,0000077-40-07OCT15

識別番号の記録

60 in 7-Iron™ 側面排出型

PIN (050001 ~)

72 in 7-Iron™ 側面排出型

PIN (050001 ~)

62 in Fastback™ 後面排出型

PIN (050001 ~)

60 in 7-Iron™ GLC

PIN (050001 ~)

72 in 7-Iron™ GLC

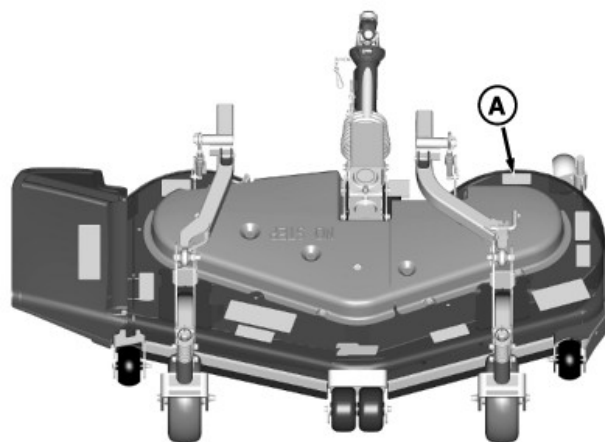
PIN (050001 ~)

72 in Fastback™ 後面排出型

PIN (340001 ~)

整備に関する情報を認定サービスセンターに問い合わせる必要がある場合は、必ず製品のモデルとシリアル番号を用意してください。

モアデッキのモデルおよびシリアル番号を確認し、情報を以下の空欄に記録してください。



60 in デッキの場合。

TCT008387—UN—22AUG13

購入日 :

販売店名 :

販売店電話番号 :

製品シリアル番号 (A) :

h2ac9y3,1655732120077-40-29JUN22

本文書は翻訳版です。このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。予告なしに変更されることがあります。

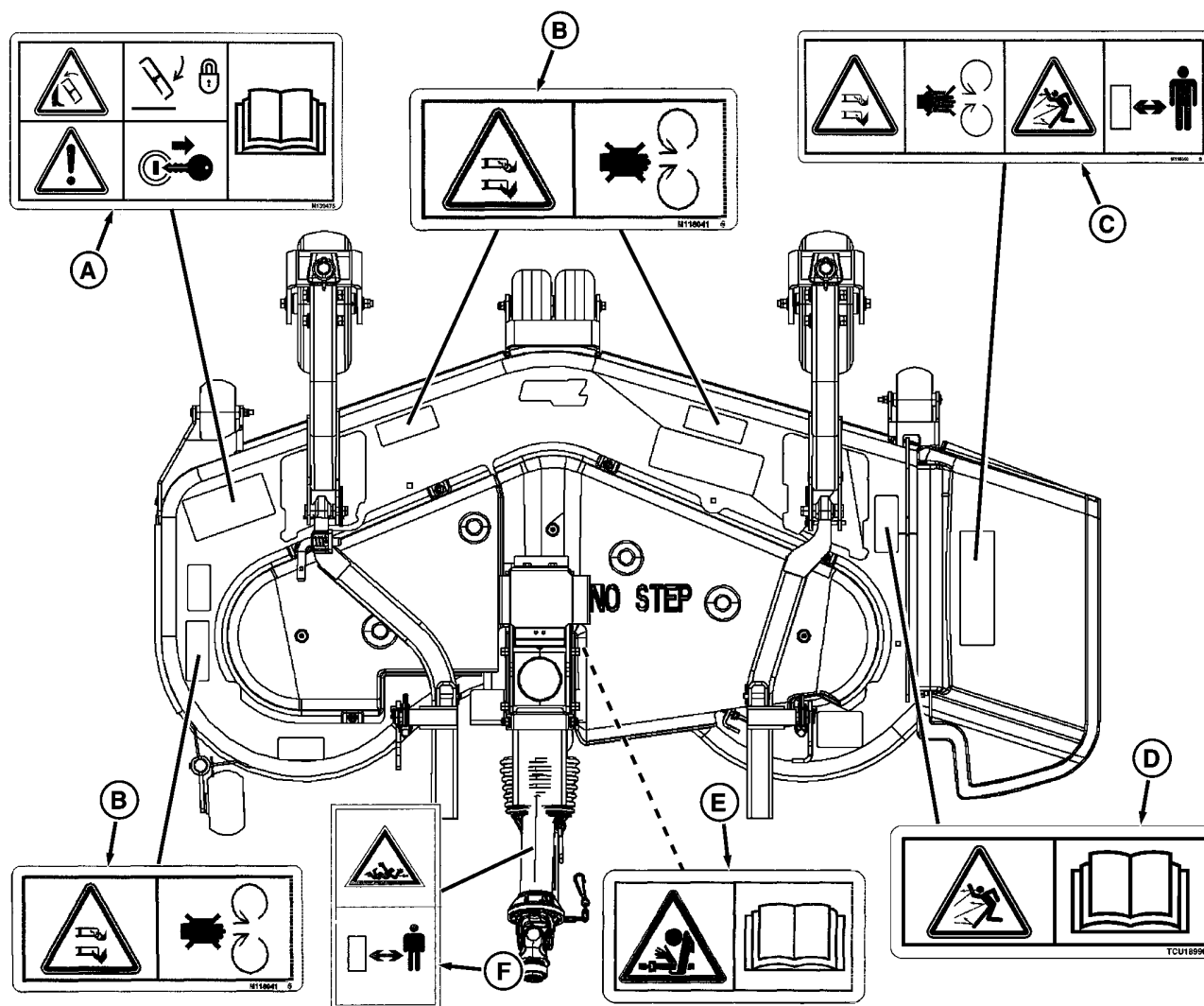
COPYRIGHT © 2025
DEERE & COMPANY
Moline, Illinois
All rights reserved.
Previous Editions
2022

Copyright © 2001, 2004, 2005, 2007, 2009, 2010, 2013, 2014, 2015, 2017, 2018, 2020, 2021,

安全ラベル (説明文なし)

安全ラベル (説明文なし)

安全ラベルの位置 (62 in 後面排出型を除く)



世界の特定の地域では絵入りのラベルが必須です。お使いの機械にはこれらのラベルが表示されていない場合があります。

TCT008388—UN—25FEB14

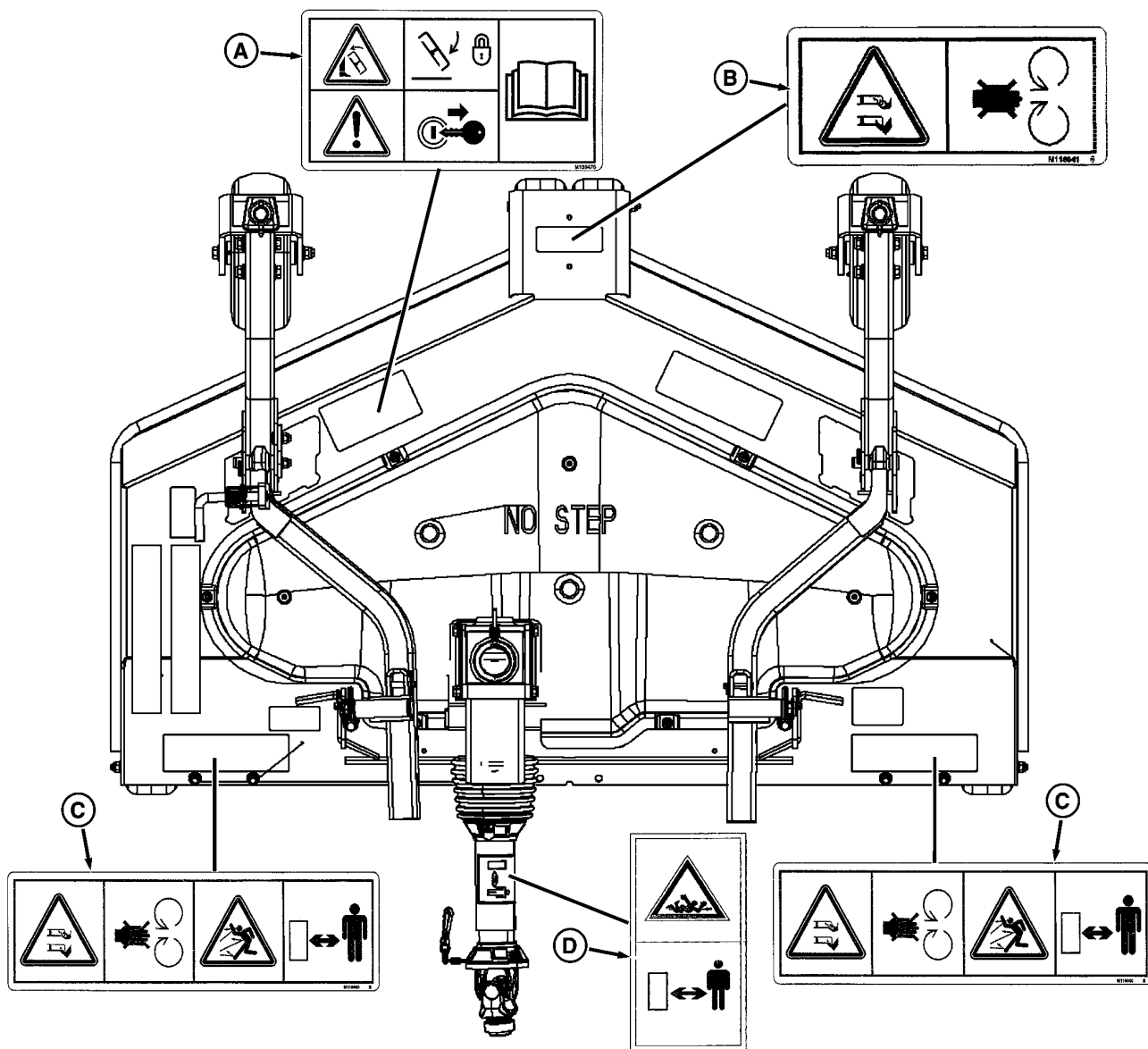
A : けがの防止とオペレータマニュアルの確認 M139475
B : 回転ブレードによるけがの防止 M118041
C : 回転ブレードや飛来物によるけがの防止 M118040

D : 飛来物によるけがの防止 TCU18996
E : 回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 (GLC デッキのみ) M121419
F : 回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 M119516

OUMX068,0000160-40-31JUL14

安全ラベル (説明文なし)

安全ラベルの位置 (62 in 後面排出型)



世界の特定の地域では絵入りのラベルが必須です。お使いの機械にはこれらのラベルが表示されていない場合があります。

TCT008389—UN—19FEB14

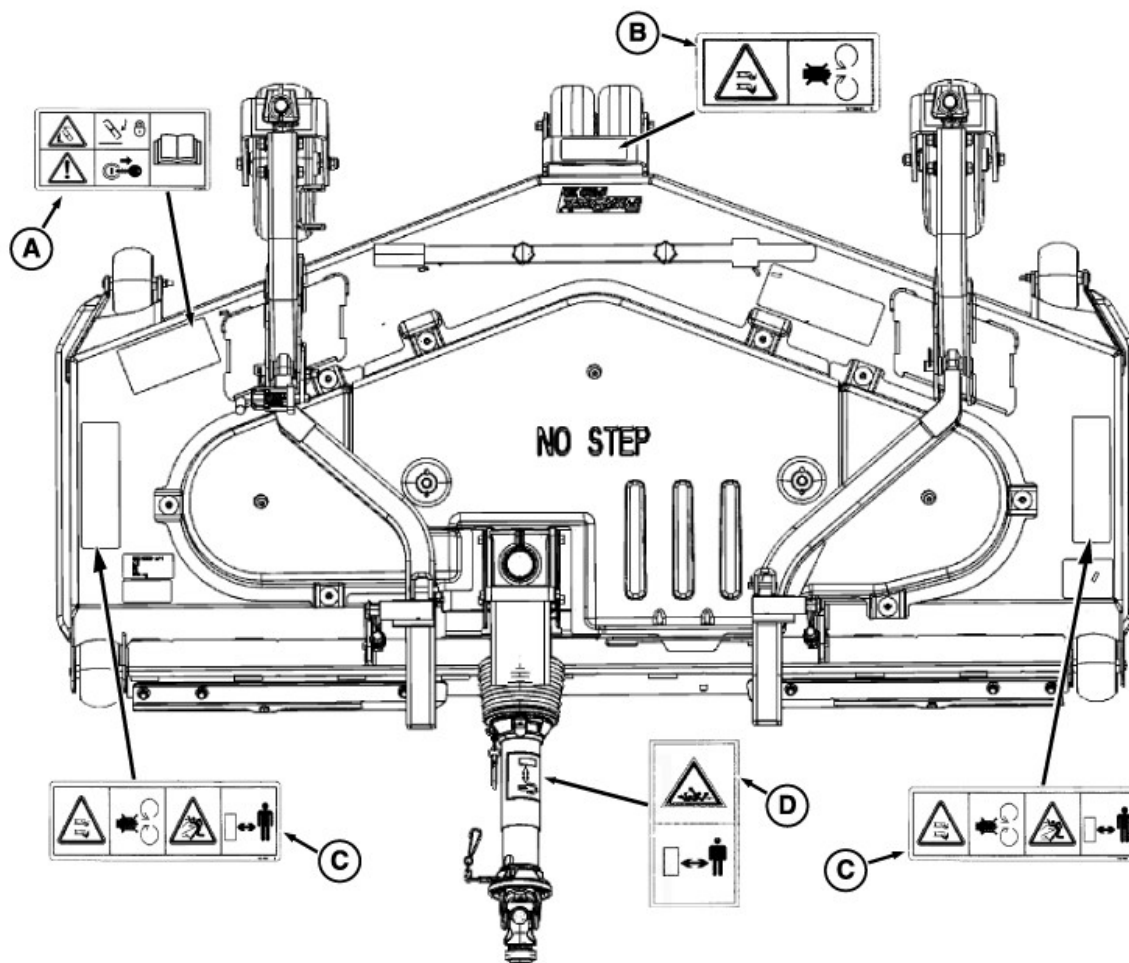
A : けがの防止とオペレータマニュアルの確認 M139475
B : 回転ブレードによるけがの防止 M118041

C : 回転ブレードや飛来物によるけがの防止 M118040
D : 回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 M119516

OUMX068.000015C-40-31JUL14

安全ラベル (説明文なし)

安全ラベルの位置 (72 in 後方排出型)



世界の特定の地域では絵入りのラベルが必須です。お使いの機械にはこれらのラベルが表示されていない場合があります。

TC102122—UN—22JUN22

A : けがの防止とオペレータマニュアルの確認 M139475

B : 回転ブレードによるけがの防止 M118041

C : 回転ブレードや飛来物によるけがの防止 M118040

D : 回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 M119516

h2ac9y3,1655898095638-40-29JUN22

機械の安全ラベル (説明文なし) の意味



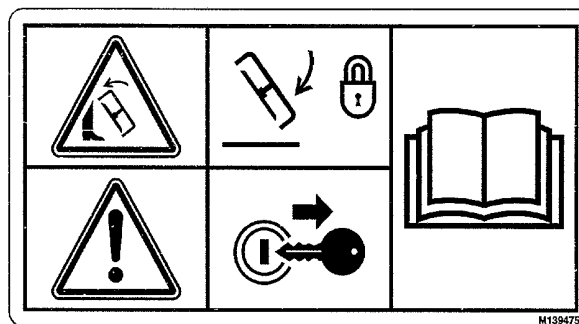
TCT005498—UN—11SEP12

このセクションに掲載している機械の安全ラベルは、安全に関わる潜在的な安全上の危険に対する注意を喚起するために機械の重要な部分に表示されています。

お使いの機械の安全ラベルには、安全警告マークとともに「危険」、「警告」、および「注意」の文字が表示されています。「危険」は最も重大な危険要素を示します。

MX00654,0000389-40-09JAN23

けがの防止とオペレータマニュアルの確認



M139475

TCAL46502—UN—12APR13

けがの防止

- シールドを取り外した状態でモアを作動させないでください。
- エンジン運転中は、モアデッキに手足を近づけないでください。

安全

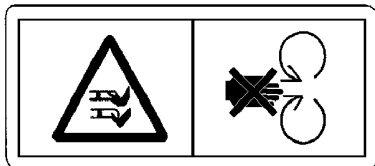
- モアから離れる前にイグニッションキーを抜いてください。
- ブレードは鋭いため、デッキを上げる際は注意してください。
- オペレータマニュアルのすべての指示事項を読み、理解し、順守してください。

整備前

- モアを下げるか、整備ロックで上昇位置に固定します。
- エンジンを停止し、イグニッションキーを抜いてから整備を行います。

OUMX068,0000158-40-23AUG13

回転ブレードによるけがの防止

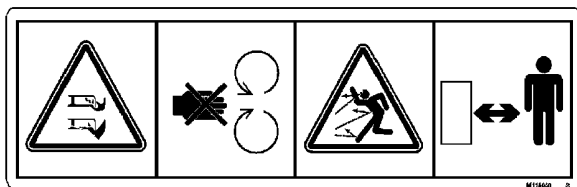


TCAL46501—UN—12APR13

- エンジン作動中、モアの下または中に手足を入れないでください。
- 排出シュートなしで、またはグラスキャッチャ全体を取り付けない状態でモアを作動させないでください。

OUMX068,0000157-40-23AUG13

回転ブレードや飛来物によるけがの防止

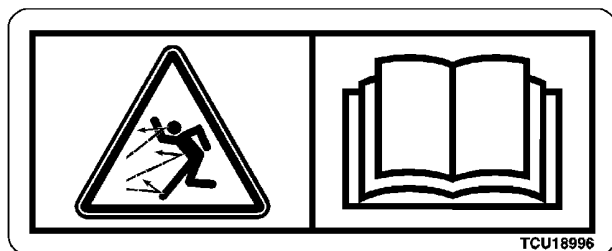


TCAL46500—UN—12APR13

- エンジン作動中、モアの下または中に手足を入れないでください。
- 排出シュートなしで、またはグラスキャッチャ全体を取り付けない状態でモアを作動させないでください。
- 刈り作業を行う前に、ブレードで飛ばされる可能性のある物体を除去します。
- エンジン運転中は近づかないでください。

OUMX068,0000156-40-23AUG13

飛来物によるけがの防止



TCU18996

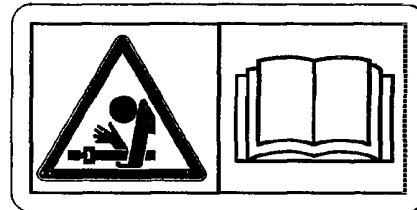
TCT009181—UN—26OCT13

- 刈り作業を行う前に、ブレードで飛ばされる可能性のある物体を除去します。

- オペレータマニュアルのすべての指示事項を読み、理解し、順守してください。

OUMX068,000015D-40-26OCT13

回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 (GLCデッキのみ)



TCT009182—UN—26OCT13

- 回転シャフトやドライブラインに近づかないでください。
- オペレータマニュアルのすべての指示事項を読み、理解し、順守してください。

OUMX068,000015B-40-26OCT13

回転シャフトやドライブラインによるけがの防止



TCAL46503—UN—12APR13

- 回転シャフトやドライブラインに近づかないでください。
- 回転シャフトから、手、足、衣服を遠ざけてください。
- 周辺に人を近づけないでください。

OUMX068,0000159-40-23AUG13

安全

安全な作業

このデッキは、John Deere フロントモアで使用するよう想定されています。機械に付属しているオペレータマニュアルに記載されている、安全な作業に関する情報を参照してください。

MX00654,0000023-40-22APR14

車両の準備

車両の準備

エンクロージャキットの取り付け

重要： 火災による損傷を防止してください。後方排出型デッキを使用しているすべての機械へのエンクロージャキットの取り付けとメンテナンスは、機械へのごみの堆積防止に役立ちます。ごみが堆積すると、火災の危険が増す可能性があります。エンクロージャキットの取り付けにより、機械の清掃が不要になるわけではありません。車両の取扱説明書の「機械の清掃」セクションを参照してください。

後方排出型モアデッキを使用する場合は、エンクロージャキットを取り付ける必要があります。市販キットの取り付け時は、付属の取付説明書に従ってください。

OUO2004,0000690-40-12MAR20

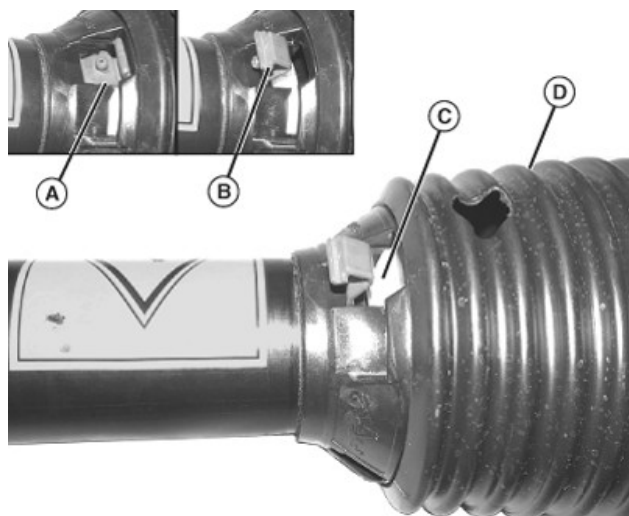
組み立て

キャスターホイール

両側のホイールのホイールベアリングから浸み出すまで、キャスターホイールのグリースフィッティングに推奨グリースを注入してください。他のキャスターホイールについても作業を繰り返します。

OMUX068,000015E-40-22AUG13

PTO シャフトの取り付け



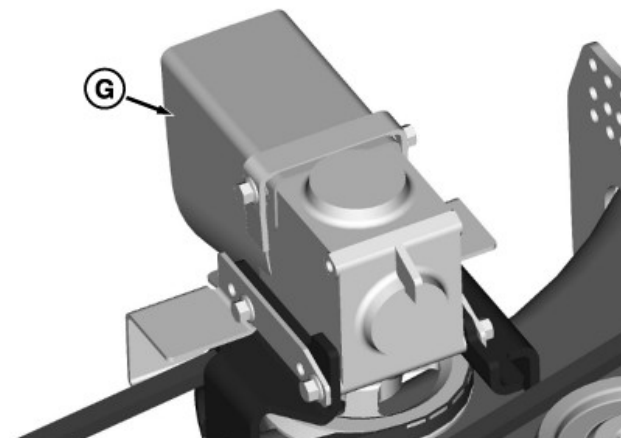
TCL46508—UN—12APR13

1. ドライバー等の工具を使用してシールドロックタブ (A) を解除し、ドライブシャフトの中心の方に返します (B)。
2. ドライブシャフトのヨークをつかみ、内側の白色のリング (C) を回して外側のシールド (D) を解除します。



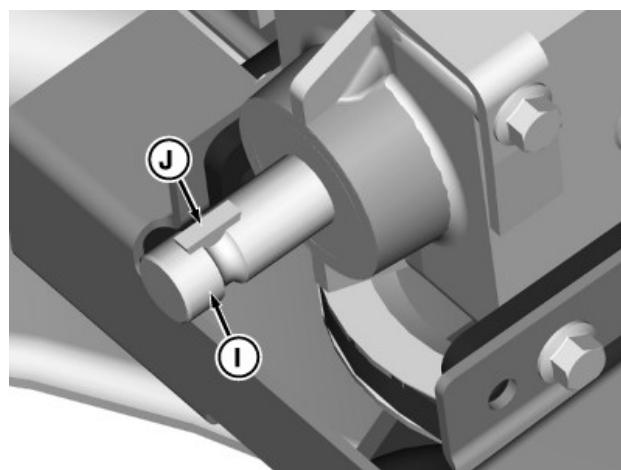
TCL46509—UN—12APR13

3. シールド (E) をスライドさせてヨーク (F) から離します。



TCT010388—UN—25FEB14

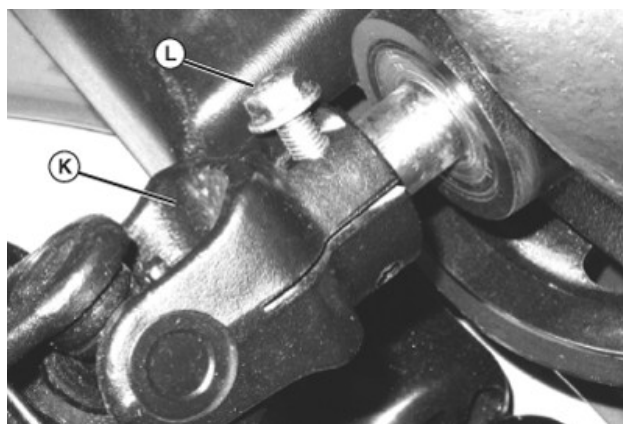
4. モアデッキ上部のゴムシールド (G) を後に引き、ギアボックスのインプットシャフトにアクセスします。



TCT009183—UN—26OCT13

5. シャフト (I) をワイヤブラシで清掃します。部品袋に入っているシャフトのキー (J) を取り付けます。

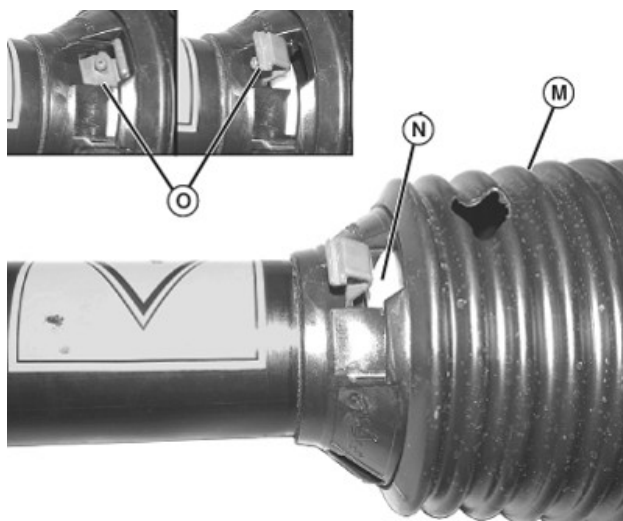
組み立て



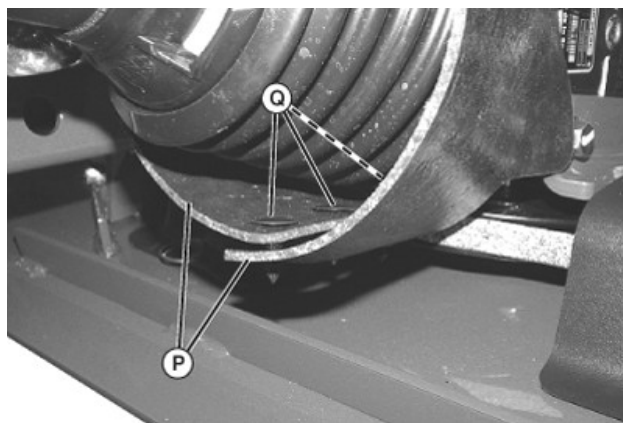
6. キーとシャフトのスロットをヨークに合わせて、ヨーク (K) をインプットシャフトに取り付けます。
7. 部品袋に入っている M10x50 フランジ付きボルト (L) をヨークに取り付け、既定のトルクで締め付けます。

仕様

PTO シャフトのヨークのボルト : トルク 122 N·m (90 lb.-ft.)



8. シールド (M) をヨーク上にスライドさせ、内側の白色のリング (N) を回し、タブ (O) をかませてシールドを固定します。



9. ゴムシールド (P) をドライブシャフトのシールドの周りにかぶせ、3 個のプッシュリテーナ (Q) で固定します。

10. ドライブシャフトのシールドから各チェーンのプラスチックバッグを取り外します。

OUMX068,00003B4-40-25FEB14

デフレクタの取り付け (60、72 in 側面排出型)

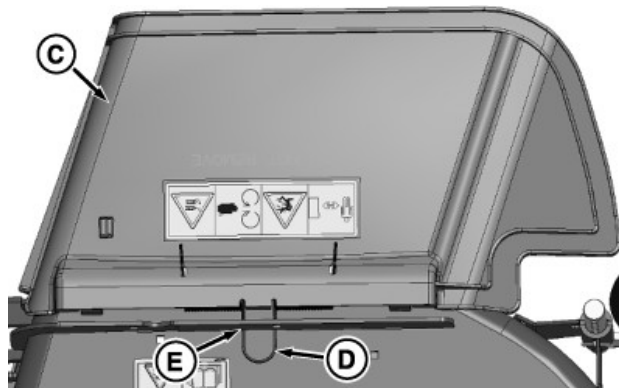
- ⚠ 注意 :** けがを防止してください。部品はスプリング張力がかかった状態で取り付けられています。スプリング張力がかかっている部品の取り付け、取り外し時は、ゴーグルを着用し、適切な工具を使用してください。



1. ピボットピン (A) をデフレクタから取り外します。

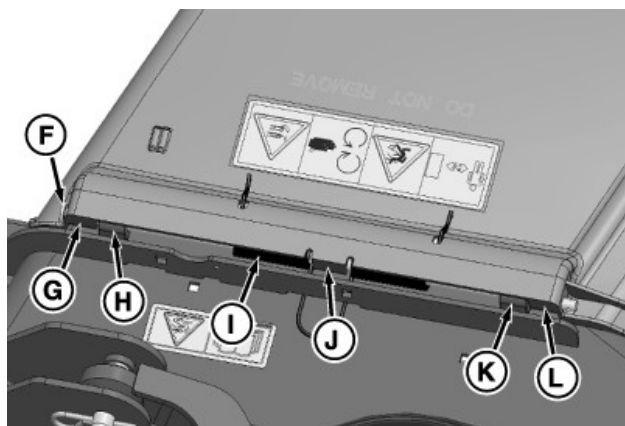


2. 部品袋に入っているシュートのヒンジのスプリング (B) を探します。図のように、デフレクタのシュートのスロットにスプリングの両端を取り付けます。スプリングの脚が下に向くようにします。

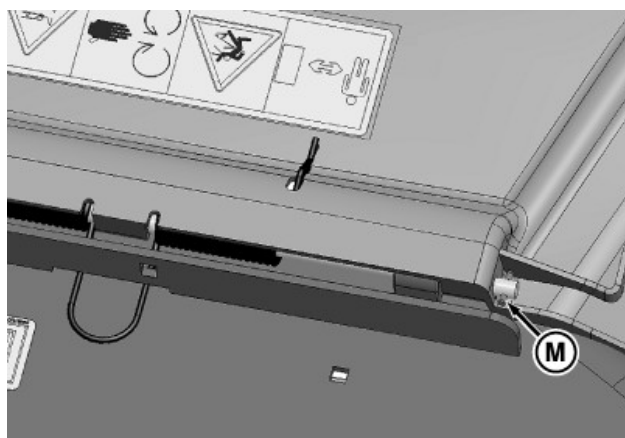


3. スプリングの本体をシュートのピボット穴に合わせ、モアデッキの排出開口部の横にデフレクタのシュート (C) を位置決めします。スプリングの丸くなった先端 (D) をモアデッキの上部に配置し、モアデッキの補強ブラケットのノッチ (E) に通してスライドさせます。

取り付け



4. シュートのピボットピン (F) を、フロントシュートのピボット (G)、フロントデッキサポート (H)、シュートスプリング (I)、ミドルシュートのピボット (J)、リアデッキサポート (K)、およびリアシュートのピボット (L) に挿入します。



5. スプリングピン (M) (部品袋に入っているもの) を排出シュートのヒンジのピン端部にある穴に取り付けます。ポンチとハンマーを使用してピンを所定位置にはめます。



TCAL46533—UN—12APR13

1. スプリングピン (A) を取り外します。
2. ロッド (B) をウエイトブラケットから引き出します。
3. 指示に従って、John Deere 19 kg (42 lb) スーツケースウエイトをウエイトブラケットに追加します。
4. ロッド (B) を取り付け、スプリングピン (A) で固定します。

h2ac9y3,1655812145490-40-29JUN22

取り付け

適切なバラストの取り付け (1435、1445、1545、1565)

注意： けがを防止してください。アタッチメントを取り付けた状態で操作すると、機械が不安定な場合があります。アタッチメントを取り付けているときは、バラストが必要です。

アタッチメントを取り外したときは、機械に追加したバラストも取り外してください。

メーカーが推奨するアタッチメントや付属品のみを使用してください。

モアデッキをフロントモアに取り付ける際、以下の数量の John Deere 19 kg (42 lb) スーツケースウエイトをリアウエイトブラケットキットに追加し、フロントモアを安定させてください。

- 60 in 側面排出型モアデッキ：ウエイトなし
- 72 in 側面排出型モアデッキ：ウエイト x 2
- 62 in 後面排出型モアデッキ：ウエイト x 1
- 72 in 後面排出型モアデッキ：ウエイト x 4

取り付け

適切なバラストの取り付け (1550、1570、1575、1580、1585)

注意： けがを防止してください。アタッチメントを取り付けた状態で操作すると、機械が不安定なる場合があります。アタッチメントを取り付けているときは、バラストが必要です。

アタッチメントを取り外したときは、機械に追加したバラストも取り外してください。

メーカーが推奨するアタッチメントや付属品のみを使用してください。

モアデッキをフロントモアに取り付ける際、以下のウエイトを追加し、フロントモアの取り扱いと安定性を向上させてください：

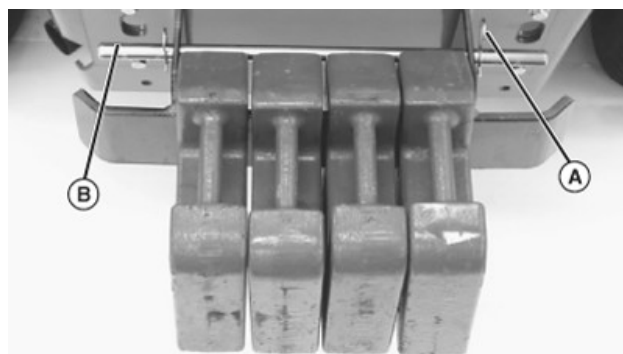
適用可能な車両シリアル番号 10001～49999 (MY15～MY18)

	60SD Export**	72SD Export**	62RD Export
キャブ	(5) リアウエイト* 使用時の標準ホイールトラック幅	(6) リアウエイト* 使用時の幅広ホイールトラック幅	(2) 左側および右側ホイールウエイトと (5) リアウエイト* 使用時の標準ホイールトラック幅 または (5) リアウエイト* 使用時の幅広ホイールトラック幅
キャビンなし	(0) リアウエイト 使用時の標準ホイールトラック幅	(2) リアウエイト* 使用時の標準ホイールトラック幅	(0) リアウエイト 使用時の標準ホイールトラック幅
*19 kg (42 lb) リアスツケースウエイト			
**ホッパーを取り付ける場合のバラストの推奨条件については、MCS または GLC のオペレータマニュアルを参照してください。			

適用可能な車両シリアル番号 50001～ (MY19～)

	60SD Export**	72SD Export**	62RD Export	72RD Export
キャブ	(4) リアウエイト* 使用時の標準ホイールトラック幅	(5) リアウエイト* 使用時の幅広ホイールトラック幅	標準ホイールトラック幅、(1) 左側および右側ホイールウエイト* または (3) リアウエイト* 使用時の幅広ホイールトラック幅	(6) リアウエイト* 使用時の幅広ホイールトラック幅
キャビンなし	(0) リアウエイト 使用時の標準ホイールトラック幅	(1) リアウエイト* 使用時の標準ホイールトラック幅	(0) リアウエイト 使用時の標準ホイールトラック幅	(1) リアウエイト 使用時の標準ホイールトラック幅
*19 kg (42 lb) リアスツケースウエイト				
**ホッパーを取り付ける場合のバラストの推奨条件については、MCS または GLC のオペレータマニュアルを参照してください。				

リアウエイトの取り付け方法：



TCAL46533—UN—12APR13

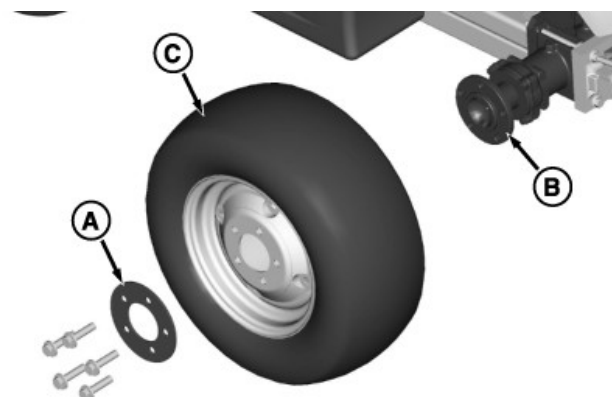
1. スプリングピン (A) を取り外します。
2. ロッド (B) をウエイトブラケットから引き出します。
3. 指示に従って、John Deere 19 kg (42 lb) スーツケースウエイトをウエイトブラケットに追加します。
4. ロッド (B) を取り付け、スプリングピン (A) で固定します。

h2ac9y3,1655813142604-40-29JUN22

フロントホイールトラック幅の調整

キャビン (1575 または 1585) を装備した TerrainCut™ モアを操作する場合は、ホイールトラック幅を適切なバラストで調整する必要があります。

狭い幅のデッキ (60SD または 62RD) を取り付ける場合は、標準のトラック幅を使用すると良い刈り込みの成果が得られます。



TCT011199—UN—29MAY14

1. ホイールボルト、座金、ホイール、および補強リング (A) をフロント車軸のハブ (B) から取り外します。金具と補強リングは今後使用するために保管しておきます。
2. タイヤが車両から離れてオフセットされるようにホイールを向け、車軸のハブにホイール (C) を取り付けます。

注記：バルブシステムは車両の方を向く内側のホイール上に位置します。

3. 幅または標準のホイールトラック位置では、補強リング (A) を必ずホイールの外側に配置します。
4. ホイールボルトを規定のトルクで締め付けます。(車両のオペレータマニュアルの「仕様」セクションを参照してください。)

OUMX068,00007D3-40-05JUN14

タイヤ空気圧の点検

機械で輸送または刈り作業を行う前に、機械のすべてのタイヤの空気圧を点検してください。

取り付け

- 機械の整備間隔ラベルで空気圧を確認してください。

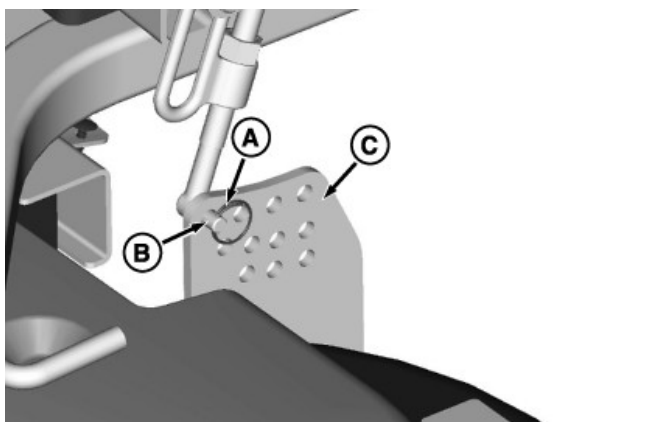
OUMX068,000016A-40-26OCT13

モアデッキの取り付け

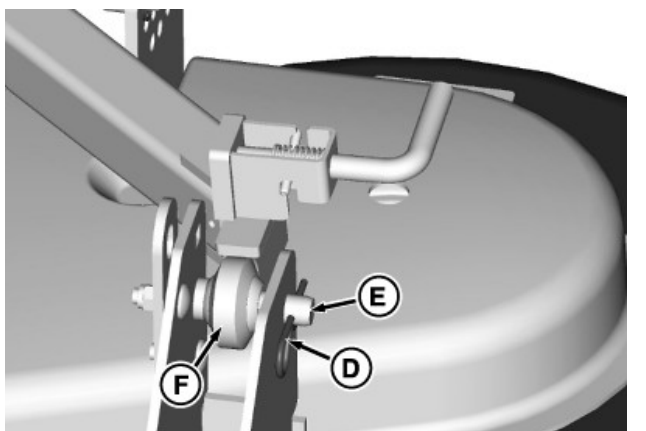
⚠ 注意： けがを防止してください。装置を取り外している時は、機械をゆっくり運転し、急停止を避けてください。装置を取り付けない状態で、機械を高速で運転しないでください。

注記：記載している手順は、60 in 側面排出型デッキの場合です。62 in と 72 in デッキの場合の手順は同じです。

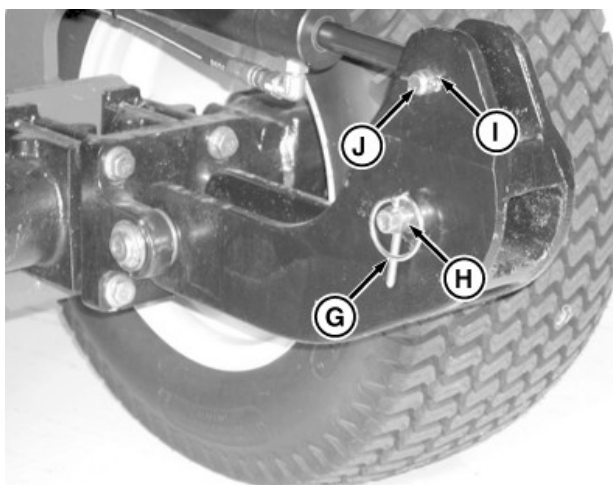
1. 機械をモアデッキの所まで運転し、機械の中心をモアデッキのドライブシャフトに合わせます。
2. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」参照）。



3. リターナリング (A) をデッキの両側のハンガーピン (B) から取り外します。
4. ハンガーピンを調整プレート (C) から引き出します。



5. スプリングピン (D) とドリルピン (E) をリフトアーム前部 (F) から取り外し、リフトアームをモアデッキから取り外します。

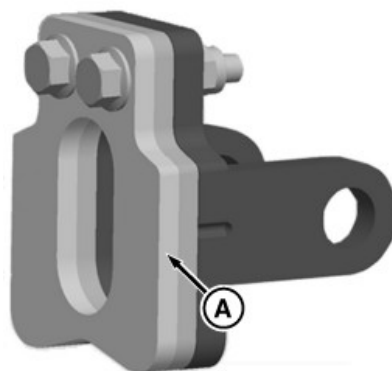


TCT007303—UN—02MAY13

6. ヒッチピン (G) とドリルピン (H) を各リフトアームから取り外します。
7. モアデッキのリフトアームを機械のリフトアームソケットに挿入します。
8. リフトアームの穴をリフトアームソケットの穴と合わせ、機械の左側と右側にドリルピン (H) を取り付けます。ヒッチピン (G) をドリルピンに取り付けます。

⚠ 注意： けがを防止してください。油圧部品にはエネルギーが蓄積されている可能性があります。機械を整備する前に、装置の部品を完全に降ろして油圧コントロールレバーを前後に動かし、油圧部品の圧力を慎重に解放してください。

9. コッタピン (I) を取り外します。ドリルピン (J) を取り外し、シリンダを取り外します。



TCT008254—UN—09AUG13

正しいスペーサの数については、表を参照してください。

10. 必要な数のスペーサ (A) を上部ストップに追加します。

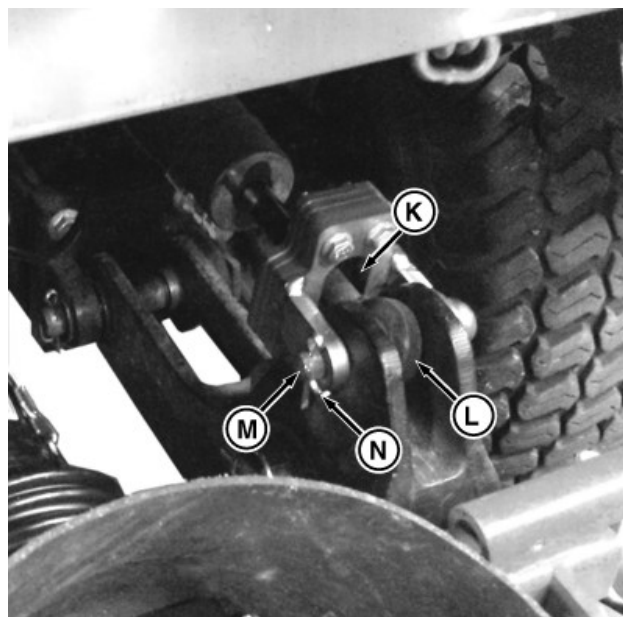
仕様

スペーサナット：トルク..... 35 N·m (25.8 lb·ft)

デッキ	タイヤサイズ	上部ストップのブラケット	スペーサ	ボルトの長さ
60 in SD	23 in	Y	0	0
	26 in	Y	3	40 mm
62 in RD	23 in	Y	3	40 mm
	26 in	Y	5	55 mm
72 in SD	23 in	Y	1	40 mm
	26 in	Y	3	40 mm

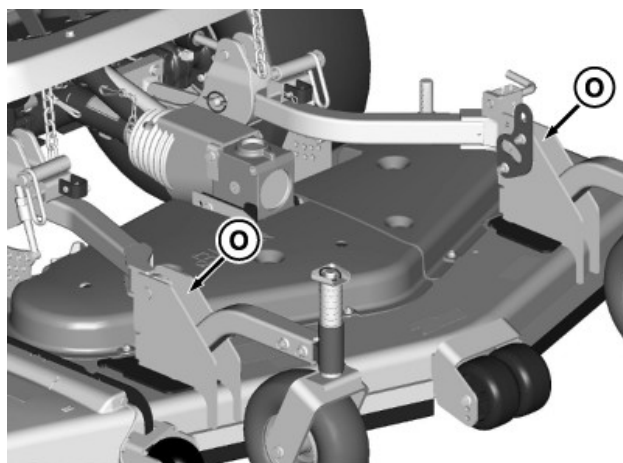
取り付け

デッキ	タイヤサイズ	上部ストップのブラケット	スペーサ	ボルトの長さ
60 in SD GLC	23 in 26 in	Y Y	0 3	0 40 mm
72 in SD GLC	23 in 26 in	Y Y	1 3	40 mm 40 mm
72 in RD	23 in 26 in	Y Y	1 2	40 mm 40 mm



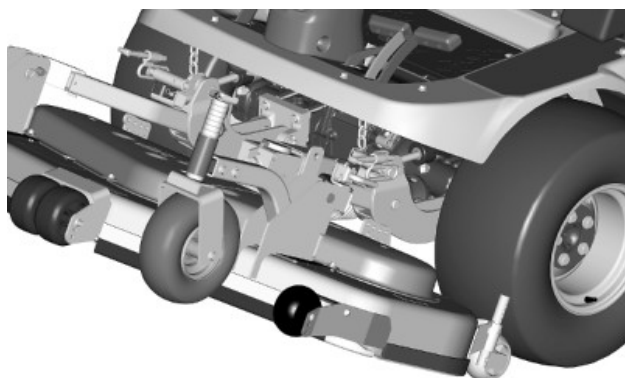
TCT008253—UN—09AUG13

11. リフトシリンダのシャフトを、上部ストップのブラケット (K) の開口部に通して取り付けます。
12. 脚をリフトアームとシリンダ (L) の穴に合わせます。キットに同梱されている新品のドリルピン (M) とコッタピン (N) で固定します。



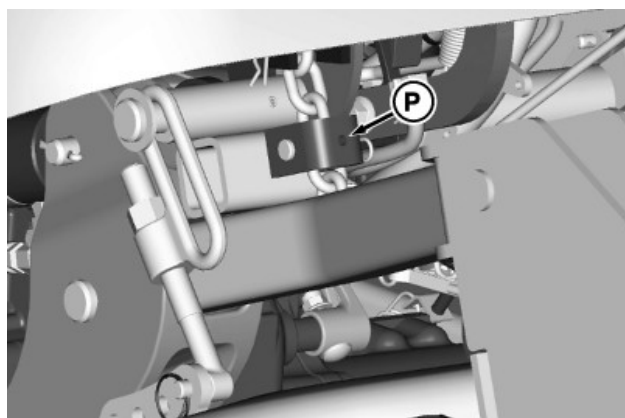
TCT008391—UN—25FEB14

13. フロント装置のブラケット (O) がリフトアーム端部と合うようにモアデッキを位置決めします。
14. 装置のリフトレバーを前に押してフロート位置にします。
15. 端部がフロント装置のブラケットの所まで下がるまで、リフトアームを押し下げます。
16. ドリルピンをブラケットとリフトアームに通して取り付け、スプリングピンで固定します。



TCT008395—UN—26AUG13

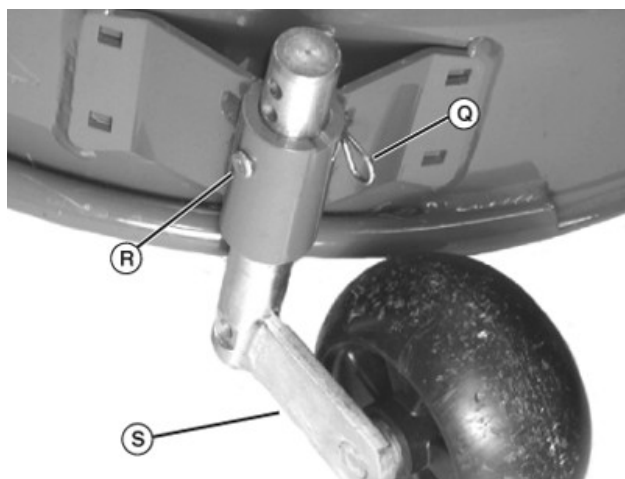
17. 機械を始動し、モアデッキを移動範囲の最上部まで上昇させます。エンジンを停止します。図のようにモアデッキが回転します。



TCT010373—UN—19FEB14

18. 整備用ラッチ (P) を左側と右側のモアデッキのリフトアームに固定します。

注記：整備用ラッチのチェーンには、すべての構成に対応できるように 7 つのリンクが用意されています。最も強く締め付けられるチェーンリンクを選択してください。

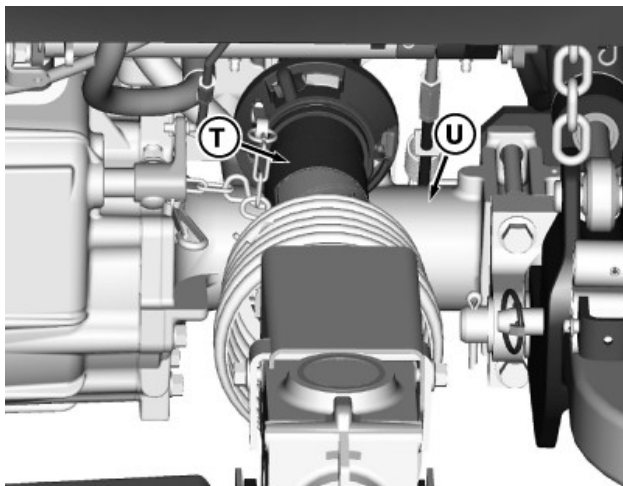


TCAL46540—UN—12APR13

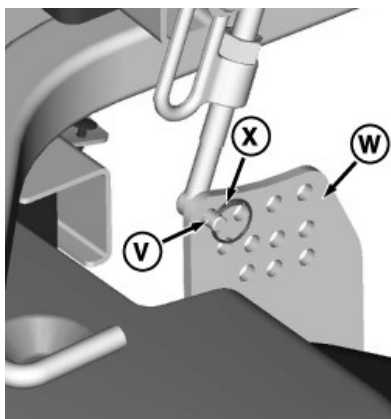
19. 60 および 72 in デッキのみ：スプリングピン (Q) とドリルピン (R) をアンチスカルプホイール (S) から取り外します。アンチスカルプホイールを最高位置まで上げ、ドリルピンとスプリングピンを取り付けます。

注記：60 in デッキには 1 つのコーナーホイールがあり、72 in デッキには 2 つのコーナーホイールがあります。

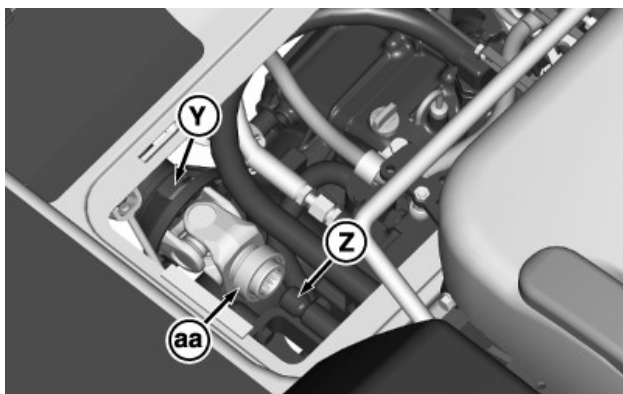
取り付け



20. モアデッキのドライブシャフト (T) を上昇させ、機械のフロント車軸 (U) の上にします。ドライブシャフトを伸長させ、車軸の上に乗せます。

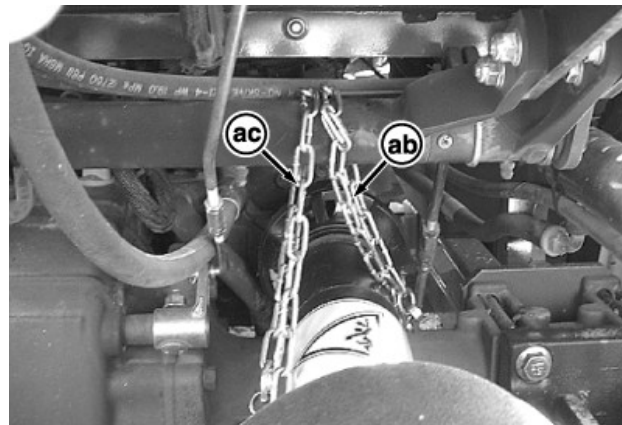


21. モアデッキの後部を上げ、フロントキャスターホイールに応じて選択した刈り高と適合する調整プレート (W) の穴にハンガーピン (V) を取り付けます。(右後の刈り高調整プレート付近にあるラベルを参照してください。)
22. リテーナリング (X) をハンガーピンに取り付けます。他のリフトアームについても繰り返します。



23. 機械の整備用ハッチを外し、以下の手順でモアデッキのドライブシャフト (Y) を機械の PTO アウトプットシャフト (Z) に取り付けます。
- モアデッキのドライブシャフトを PTO アウトプットシャフトに押し込みます。(モアデッキの駆動軸を回して、2 つのシャフトのスパインを整列させる必要がある場合があります。)

- スプラインがそろってドライブシャフトがかみ合い始めた後、カプラーリング (aa) を前に引っ張り、カプラーが所定位置に固定されるまでモアデッキのドライブシャフトを PTO アウトプットシャフトの方に押し続けます。
- カプラーリングを解除します。
- カプラーがシャフトに確実に固定されるまで、カプラーを押したり引いたりします。



- フロント (ab) とリア (ac) のドライブシャフトのシールドのチェーンをブレーキクロスシャフトに取り付けます。モアデッキを移動範囲まで昇降させた時にたるみが最も小さくなるようにチェーンを調整します。

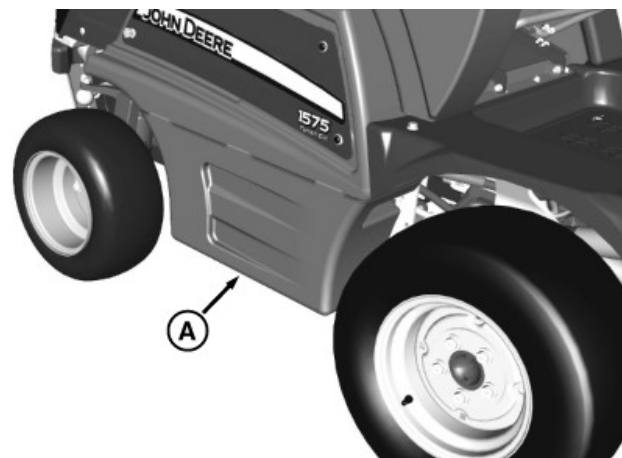
- 整備用ハッチを閉じ、ラッチをかけます。
- モアデッキの刈り高を設定します。
- アンチスカンプホイールの高さが、水平な地面上で地表から 6 mm (1/4 in) になるように調整します。
- 整備用ラッチのロックを解除します。
- モアデッキを地面まで下げます。

vs70618,1734943867421-40-23DEC24

ゴミエンクロージャの取り付け (62 in および 72 in、RDデッキのみ)

機械の準備

-



A : バッテリーカバー

- バッテリーカバー (A) を取り外します。
- アタッチメントを機械から取り外します。
- 後輪をブロックします。

取り付け

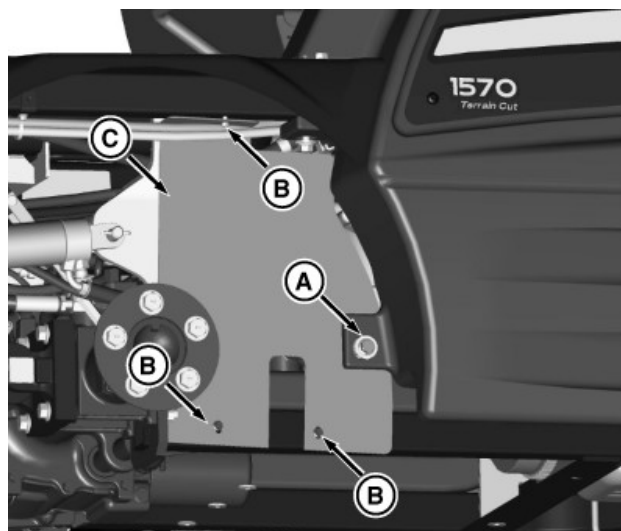
重要： 損傷を防止してください。トランスアクスルの底部をフロアジャッキのリフトポイントとして使用しないでください。作動油フィルタが損傷している可能性があります。フロントタイヤの背後にあるフレームレールのフロアジャッキの位置を確認します。

4. 機械とサポート機械からフロントタイヤを取り外します

左右のサイドシールドの取り付け

左のサイドシールド

1.



A: 燃料タンクの金具
B: セルフタッピングキャップスクリュー
C: 左のサイドシールド

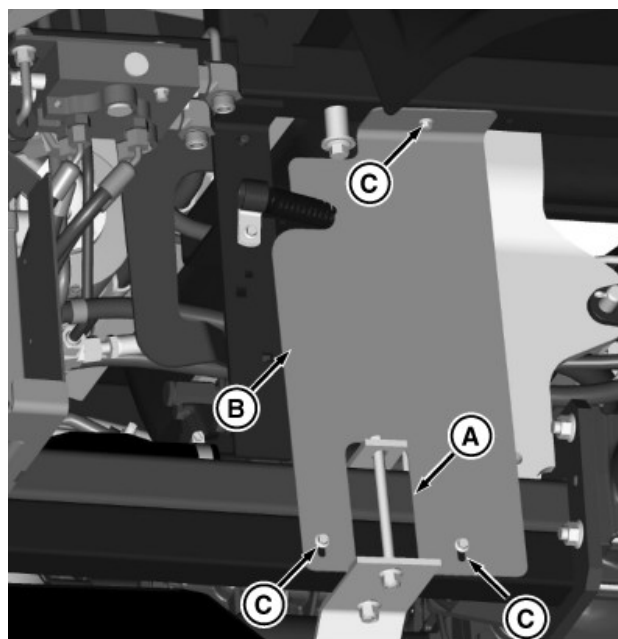
TCT008251—UN—20AUG13

燃料タンクの金具 (A) を取り外します。

2. シールド (C) と燃料タンクの金具 (A) を取り付けます。(締め付けないでください)。
3. M6 x 16 セルフタッピングキャップスクリュー 3 本を取り付けます。上部のキャップスクリューを先に締め付けます。
4. 燃料タンクの金具 (A) を締め付けます。

右のサイドシールド

1.



TCT008250—UN—08AUG13

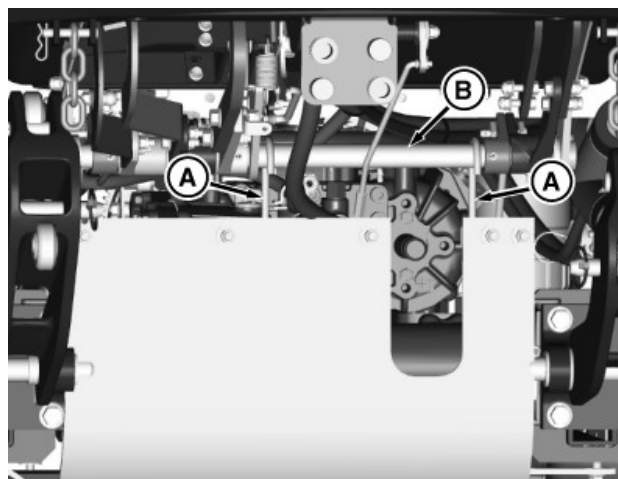
A: スロットインシールド
B: 右のサイドシールド
C: セルフタッピングキャップスクリュー

M6 x 16 セルフタッピングキャップスクリュー 3 本 (C) を使用して、シールドを取り付けます。上部のキャップスクリューを先に締め付けます。

トランスアクスル/エンジンとフライホイールシールドの取り付け

トランスアクスルとエンジンシールド

1.



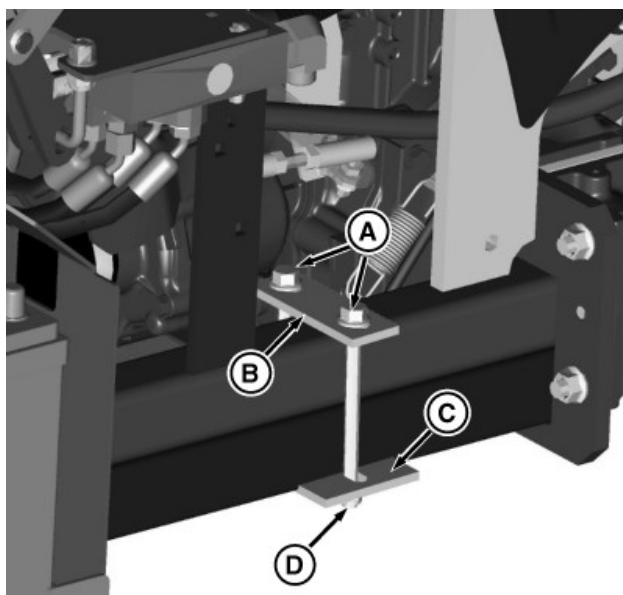
TCT008248—UN—07AUG13

A: ハンガー
B: ブレーキシャフト

トランスアクスルとエンジンシールドハンガー (A) をブレーキシャフト (B) の上、機械の前部の運転プラットフォームの下に引っ掛けます。

2.

取り外しと保管



A : キャップスクリュー、M10 x 130
B : プレート
C : 取り付けプレート
D : ロックナット、M10

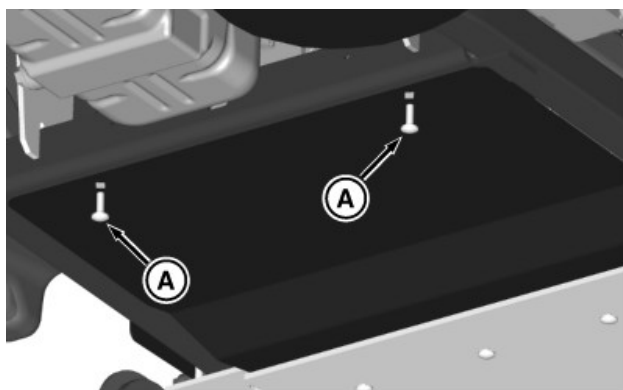
TCT008249—UN—07AUG13

プレート (B) をサイドシールドのスロットに通します。

3. キャップスクリュー 2 本 (A) を小プレート (B) の穴と取り付けプレート (C) の穴に通して取り付けます。
4. ロックナット 2 個を取り付けて締め付けます。
5. 反対側でもこの手順を繰り返します。

フライホイールシールド

1.



A : キャリッジボルト、M8 x 25

TCT008252—UN—08AUG13

2 つのキャリッジボルト (A)、M8 座金、M8 ロックナットでフライホイールシールドを固定します。

2. タイヤを取り付け、ジャッキスタンドから機械を降ろします。
3. バッテリーカバーを交換します。

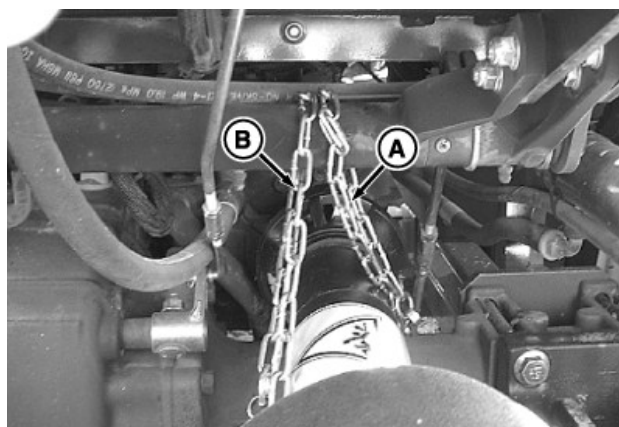
h2ac9y3,1656413987887-40-29JUN22

取り外しと保管

モアデッキの取り外し

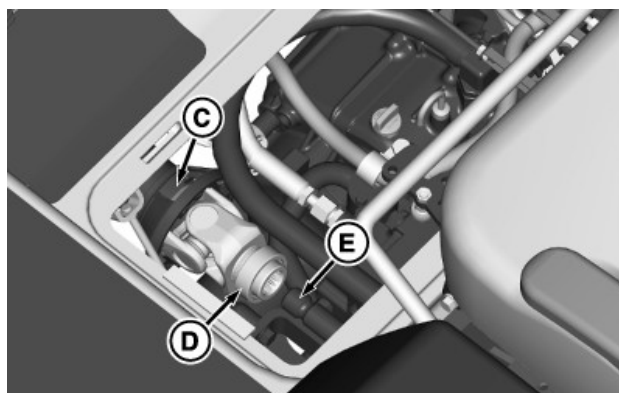
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

2. モアデッキを上げ、整備用ラッチを固定します。



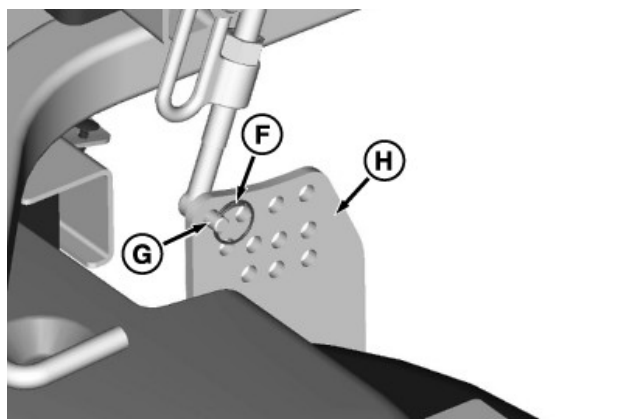
TCT008406—UN—26AUG13

3. フロント (A) とリア (B) のドライブシャフトのシールドのチェーンをブレーキクロスシャフトから取り外します。



TCT008407—UN—26AUG13

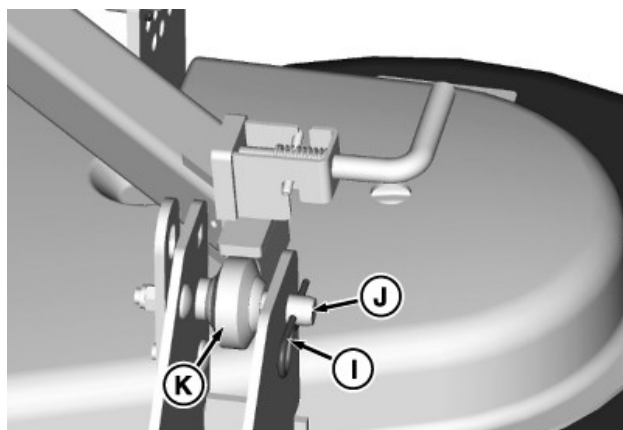
4. 機械の整備用ハッチを外し、モアデッキのドライブシャフト (C) の位置を確認します。
5. カプラーリング (D) を前に引っ張り、ドライブシャフトを PTO アウトプットシャフト (E) から離します。



TCT008408—UN—27FEB14

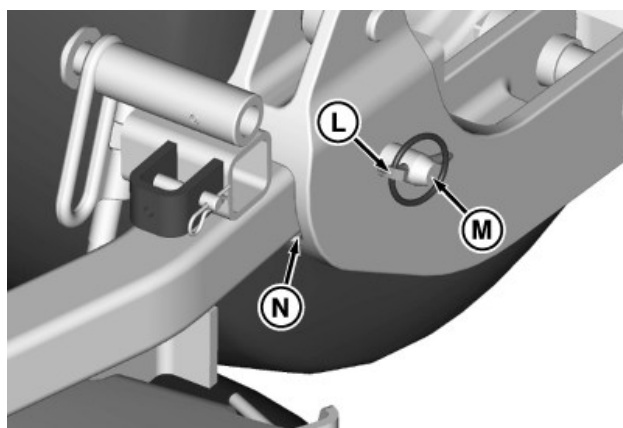
6. リテーナリング (F) をハンガーピン (G) から取り外し、ハンガーピンを調整プレート (H) から取り外します。機械の反対側のリアデッキハンガーについても繰り返します。
7. モアデッキを整備位置まで回転させます。
8. 整備用ラッチを解除します。
9. モアデッキを地表まで下げます。

操作



TCT008409—UN—27FEB14

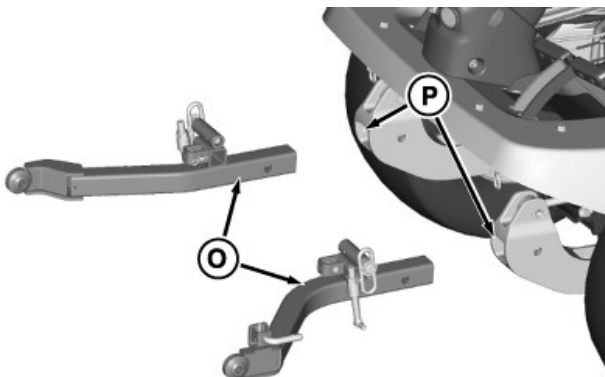
10. スプリングピン (I) とドリルピン (J) をリフトアーム (K) の前部から取り外します。リフトアームをモアデッキから取り外します。



TCT008396—UN—27FEB14

11. ヒッチピン (L) をドリルピン (M) から取り外し、ドリルピンをリフトアームソケット (N) から取り外します。機械の反対側で繰り返します。

注意： フロントの装置を上げた状態や取り外した状態で傾斜地で運転したり高速で運転すると、機械が不安定になる場合があります。装置を上げた状態や取り外した状態では低速で移動し、急ブレーキを避けてください。



TCT009571—UN—01DEC13

12. モアデッキのリフトアーム (O) を機械のリフトアームソケット (P) から引き抜きます。
13. ドリルピンをリフトアームソケットに取り付け、ヒッチピンで固定します。
14. リテーナリングをハンガーピンに再度取り付けます。

15. リフトアームとピンをデッキに再度取り付けます。

OUMX068,0000170-40-23APR14

安全な保管

注意： 燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- ・保管場所へまたは保管場所からの機械の移動に必要な時間のみエンジンを運転してください。
- ・冷める前に機械を保管した場合、エンジンやマフラーの周辺から屑を取り除いていない場合、または可燃物の近くに保管した場合、機械や構造物の火災が発生するおそれがあります。
- ・タンクに燃料が残っている車両を、燃料蒸発ガスが直火や火花に達する可能性がある建物内に保管しないでください。
- ・閉鎖区域に機械を保存する前にエンジンを冷ましてください。

AP43109,000029D-40-15APR13

装置の保管

注記：装置によっては、以下の手順の一部は該当しない場合があります。

1. 刈った草を MCS やバガー装置から取り除きます。
2. 装置を機械から取り外します。
3. 装置とドライブラインが装備されている場合は、ホースの水の圧力で洗浄します。
4. 必要に応じてシールドを取り外し、すべての屑を取り除きます。
5. 摩耗、曲がり、損傷がある部品は修理または交換します。緩んでいる金具を締め付けます。
6. 必要に応じて塗装面に塗料を塗り、錆を防ぎます。
7. ブレードまたはタインにグリースを薄く塗布し、錆を防ぎます。
8. ピボットピンをエンジンオイルで潤滑し、錆を防ぎます。
9. グリースポイントを潤滑します。

重要： 装置を粗い面に置くと損傷するおそれがあります。装置は平滑な面か木のブロックの上で保管してください。

10. 装置を屋外で保管する場合は、可能であれば装置をブロックで固定し、防水カバーをかぶせます。

AP43109,000029E-40-15APR13

操作

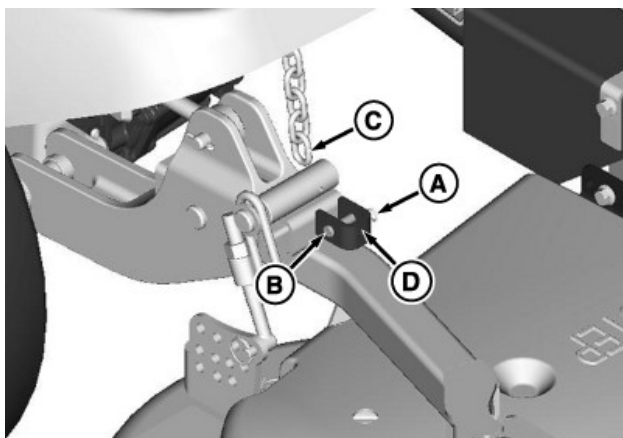
整備用ラッチの使用

注意： けがを防止してください。機械を動かす前に整備用チェーンのラッチを外し、けがを防止してください。フロントの装置を上げた状態や取り外した状態で傾斜地で運転したり高速で運転すると、機械が不安定になる場合があります。装置を上げた状態や取り外した状態では低速で移動し、急ブレーキを避けてください。装置を上げた後も PTO は回転し続けます。使用しない時は PTO を停止してください。

1. 機械は傾斜地ではなく水平な地面に止めてください。
2. PTO スイッチをオフにします。
3. モアデッキを最高レベルまで上げます。
4. パーキングブレーキをかけます。
5. エンジンを停止し、キーを抜きます。

操作

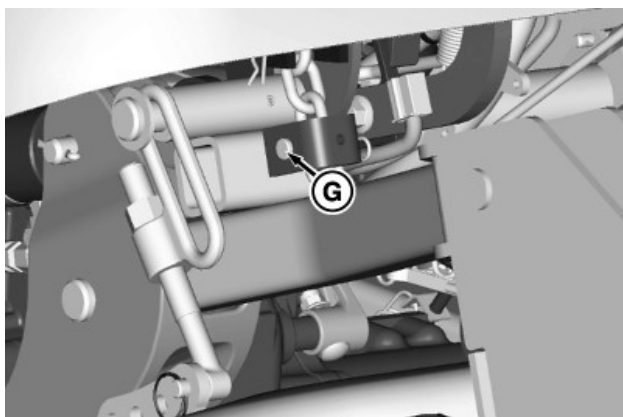
6. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。



TCT010375—UN—20FEB14

7. スプリングピン (A) とクレビスピン (B) をモアデッキのリフトアームから取り外します。
8. 整備用ラッチのチェーン (C) の下部リンクをモアデッキのリフトアームの溶接ブラケット (D) に挿入します。

注記： 整備用ラッチのチェーンには、すべての構成に対応できるように 7 つのリンクが用意されています。最も強く締め付けられるチェーンリンクを選択してください。



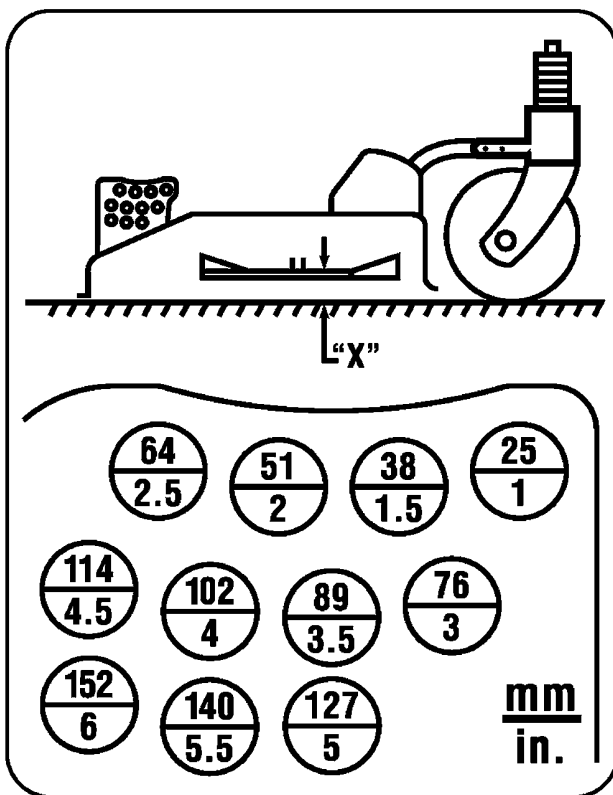
TCT010376—UN—20FEB14

9. 継ぎ手ピン (G) をブラケットとチェーンに通して取り付け、スプリングピンで固定します。

OUMX068,00003B5-40-20FEB14

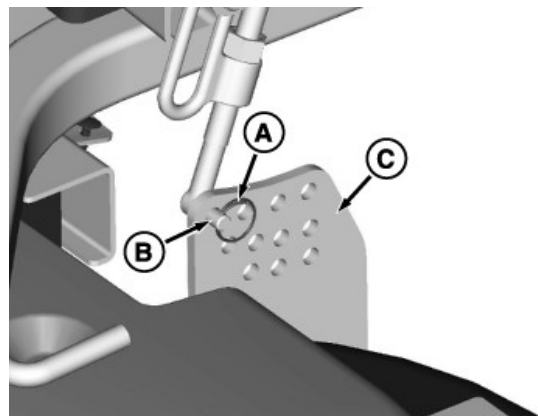
モアデッキの刈り高の調整

- モアデッキを上げます。
- 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
- 整備用ラッチを両方のリフトアームに固定します。



TCT008729—UN—25SEP13

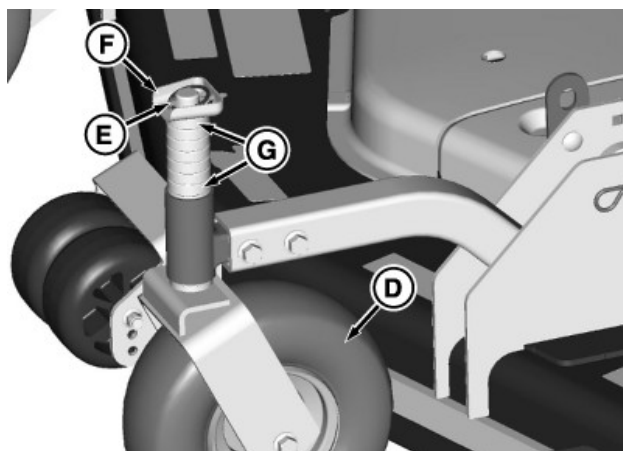
4. モアデッキの前部と後部のステッカーに記載されている刈り高から選びます。



TCT010730—UN—27FEB14

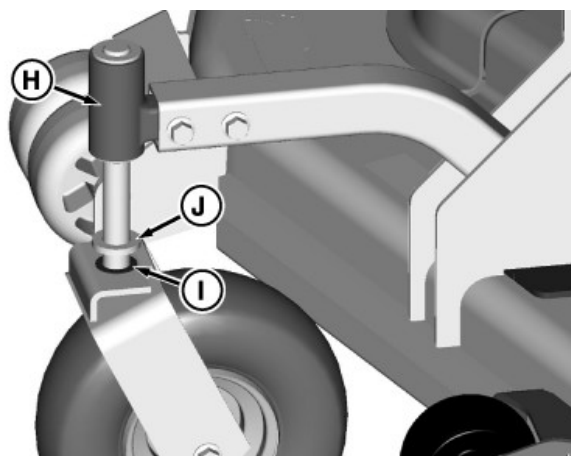
- モアデッキの左側と右側のリアハンガープレート (C) のハンガーピン (B) からリテーナリング (A) を取り外します。
- ステッカーから選んだ刈り高に合った穴にハンガーピンを移動します。両方のハンガーピンをリテーナリングで固定します。

操作



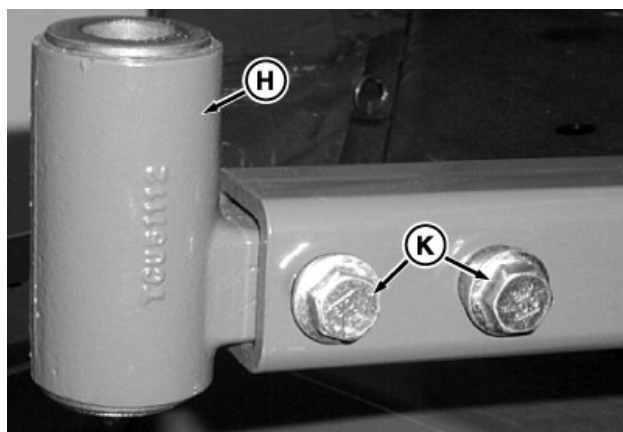
TCT010377—UN—20FEB14

7. 片手でキャスターホイール (D) を支持しながら、クイックロックピン (E) とスペーサガード (F) を取り外します。
8. スペーサ (G) をキャスターホイールのピボットシャフト上部から取り外します。



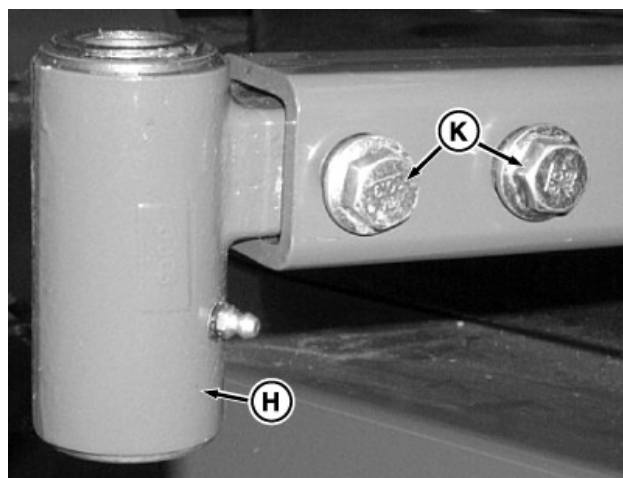
TCT008731—UN—25SEP13

9. 平座金 (I) と 1/4 in スペーサがキャスターホイールのピボットシャフトに残っているのを確認し、キャスターホイールを下げたキャスターホイールブラケット (H) から離します。
10. キャスターホイールブラケット (H) を位置決めします：



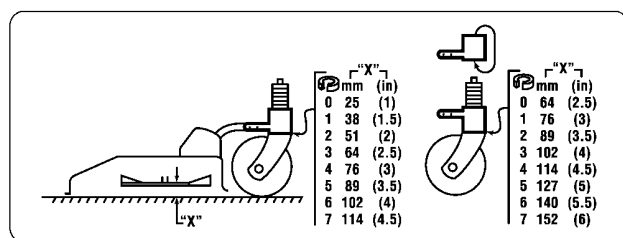
TCT008732—UN—25SEP13

- 通常の刈り高の範囲が 25 ~ 114 mm (1 ~ 4.5 in) の場合は、キャスターホイールブラケット (H) を上昇位置にします。



TCT008733—UN—25SEP13

- 通常の刈り高が 64 ~ 152 mm (2-1/2 ~ 6 in) の場合は、キャスターホイールブラケット (H) を下降位置にします。
11. キャスターホイールブラケットを正しい位置に動かします：
 - 2 個の取り付けボルト (K)、スペーサ、およびナットを取り外します。
 - ブラケットを 180° 回転させます。
 12. ボルト (K) を取り付け、キャスターホイールを組み付けてモアデッキのウエイトがキャスターホイールに戻るまでは完全には締め付けしないでください。
 13. 平座金 (I) が所定位置にあることを確認し、キャスターホイールをキャスターホイールブラケットに再度取り付けます。



TCT008734—UN—25SEP13

下降レンジ位置と上昇レンジ位置のキャスターホイールブラケットのステップ高

14. モアデッキのステッカーを参照し、刈り高 (X) の設定に必要なスペーサの数を確認します。
15. ホイールブラケットの上のキャスターピボットシャフトに残りのスペーサを配置します。
16. スペーサガードをスペーサの上部に取り付け、クイックロックピンで所定位置に固定します。
17. 整備用ラッチのロックを解除し、モアデッキを地表まで下げます。
18. キャスターホイールブラケットのボルトを既定のトルクで締め付けます。

仕様

キャスターホイールブラケットのボルト：

トルク..... 81 N·m (60 lb.-ft.)

OUMX068.0000608-40-27FEB14

モアデッキレベルの点検

1. 作業機を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. モアデッキを地表まで下げます。
3. 機械のすべてのタイヤの空気圧を点検してください。

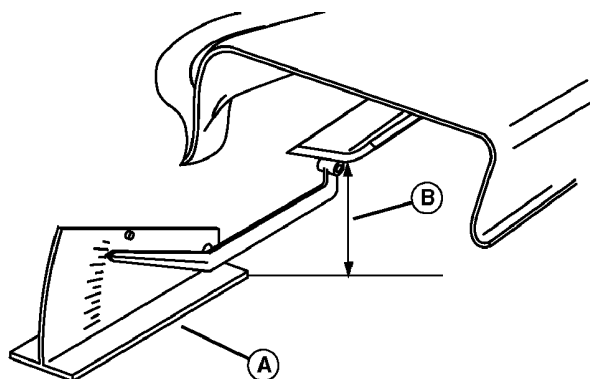
操作

- すべてのタイヤに空気を入れ、適切な空気圧にします。(機械の整備間隔ラベルで空気圧を確認してください。)

- モアデッキを目標の刈り高に設定します。
- フロントモアデッキのキャスターホイールとリアハンガーがすべて同じ高さに設定されていることを確認します。

注意： ブレードは鋭利です。ブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する場合は、必ず手袋を着用してください。

- ブレードをフロント車軸と平行になるまで回転させます。



TCAL46563—UN—12APR13

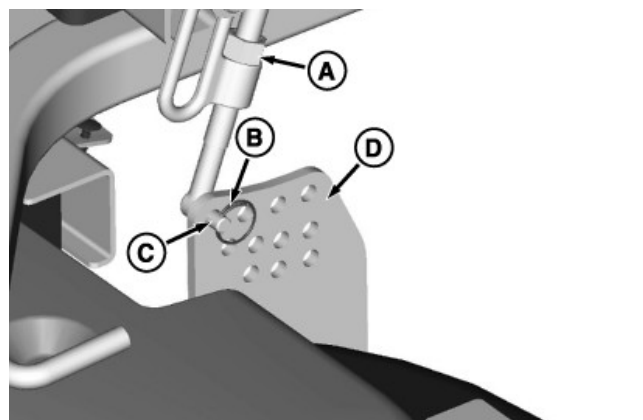
レベルングゲージ AM130907 (A) は John Deere 取扱店から入手できます。

- 外側のブレードの先端 (B) から地表までの距離を測定します。デッキの反対側の外側のブレードについても繰り返します。
- 外側のモアブレードを前後方向に向くように回します。
- ブレードの前端と後部から地表までの高さを測定します。デッキの反対側の外側のブレードについても繰り返します。
 - ブレードの刈り高は横方向に水平にする必要があります。
 - ブレードの高さは、リアで 3~6 mm (1/8 ~ 1/4 in) 高くする必要があります。
 - ブレード先端の高さを刈り高の設定と合わせる必要があります。
- アンチスカalpホイールの高さが、水平な地面上で地表から 6 mm (1/4 in) になるように調整します。

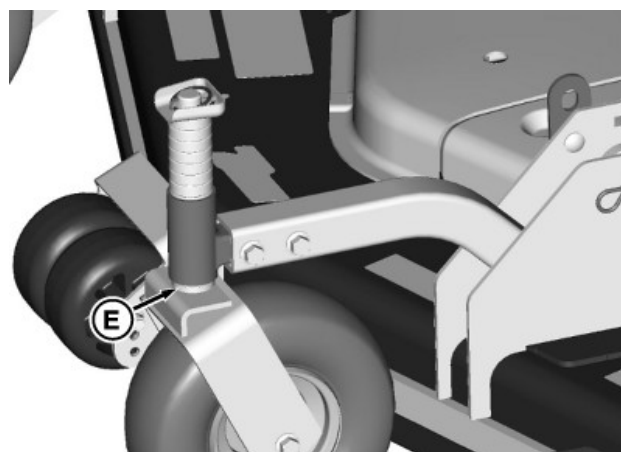
OUMX068.0000218-40-20FEB14

モアデッキレベルの調整

- 車両のタイヤ空気圧が適正であることを確認します。(タイヤ空気圧については、「仕様」セクションを参照してください。)
- デッキの刈り高の設定 (フロントとリアの調整点) がすべて同じ位置になっていることを確認します。
- 前後方向と横方向でモアデッキレベルを点検します。(このセクションの「モアデッキレベルの点検」を参照してください。)



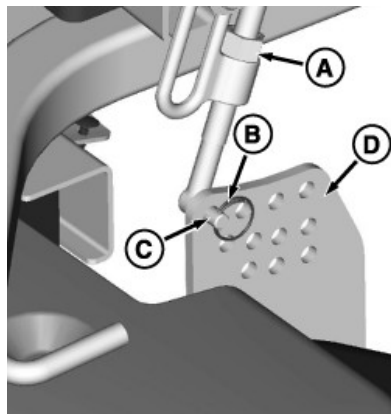
- 傾斜角度 (前後方向の水平調整) が適正ではない場合は、リアハンガーを調整します。
 - モアデッキを上げ、リフトアームの整備用ラッチを固定します。
 - リアハンガーのロックナット (A) を緩めます。
 - ハンガーピン (C) のリテーナリング (B) を取り外します。
 - ハンガーピン (C) を調整プレート (D) から取り外します。取り外した元の穴をメモしておきます。
 - ハンガーピンを回してリアハンガーを調整します。
 - 傾斜角度を大きくするにはリアハンガーを上を調整します。
 - 傾斜角度を小さくするにはリアハンガーを下を調整します。
 - ハンガーピンを調整プレート (D) の上から前の穴の位置に戻して挿入し、リテーナリングで固定します。
 - モアの反対側のハンガーについても上記の調整手順を繰り返します。
 - モアデッキを下げ、前後方向の水平を点検します。ブレードを回し、デッキで前後方向に向くようにします。
 - ブレードの高さをブレードの前端の刈り高の設定と合わせる必要があります。
 - ブレードの高さは、リアブレードの先端で 3~6 mm (1/8 ~ 1/4 in) 高くする必要があります。
 - 必要に応じて手順 A~H を繰り返します。



注記：キャスターホイールスペーサアセンブリの下部に 6mm (1/4 in) スペーサ座金 (E) があります。この調整を行う際、6 mm (1/4 in) スペーサをキャスターホイールブラケットの上に移動しなければならない場合があります。

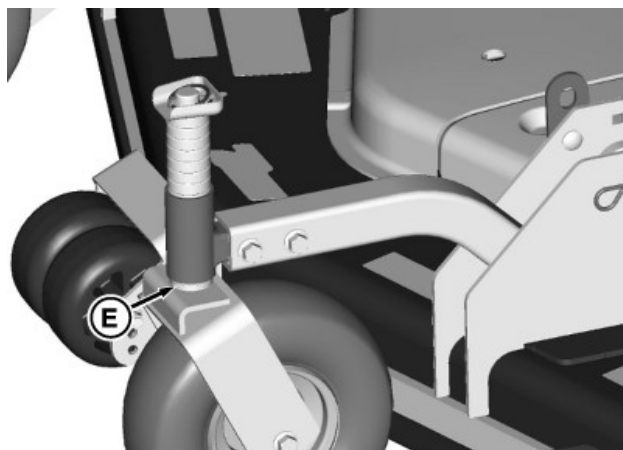
操作

- j. モアの両側のロックナット (A) を締め付けます。
5. 傾斜角度を設定した後、横方向の水平を点検します。



TCT010733—UN—28FEB14

6. 横方向のブレード先端の高さが 3 mm (1/8 in) 以内になっていない場合は、調整が必要です。
- モアデッキを上げ、リフトアームの整備用ラッチを固定します。
 - リアハンガーのロックナット (A) を緩めます。
 - ハンガーピン (C) のリテーナリング (B) を取り外します。
 - ハンガーピン (C) を調整プレート (D) から取り外します。取り外した元の穴をメモしておきます。
 - ハンガーピンを回してリアハンガーを調整します。
 - デッキの一方を上げるには、そのリアハンガーを上にも調整します。(注記：これにより傾斜角度も大きくなります。)
 - デッキの一方を下げるには、そのリアハンガーを下にも調整します。(注記：これにより傾斜角度も小さくなります。)
 - ハンガーピンを調整プレート (D) の上から前の穴の位置に戻して挿入し、リテーナリングで固定します。
 - モアの反対側のハンガーについても調整が必要です。
 - モアデッキを下げ、横方向の水平を点検します。
 - 必要に応じて手順 A～H を繰り返します。



TCT010379—UN—20FEB14

注記：キャスターホイールスペーサアセンブリの下部に 6mm (1/4 in) スペーサ座金 (E) があります。この調整を行う際、6 mm (1/4 in) スペーサをキャスターホイールブラケットの上に移動しなければならない場合があります。

- j. モアの両側のロックナット (A) を締め付けます。

7. モアデッキレベルを点検します。このセクションの「モアデッキレベルの点検」を参照し、必要に応じて繰り返してください。

OUMX068,0000622-40-28FEB14

モアの接続



注意：回転ドライブラインに近づかないでください：

- 回転しているドライブラインに巻き込まれると、深刻な人身事故を引き起こす可能性があります。
- 手、足、衣服を遠ざけてください。
- すべてのシールドが正しく取り付けられ、使用されていることを確認してください。
- PTO に近づく前に、エンジンを停止し、PTO ドライブラインが停止したことを確認してください。

注記：刈り作業中はエンジンをフルスロットルで運転してください。

- エンジンを始動し、暖機します。
- パーキングブレーキを解除します。
- モアデッキを地表まで下げます。
- スロットルをフルスロットル位置まで前に動かします。
- PTO スイッチを ON 位置にし、モアのブレードを始動させます。
- モアのブレードの接続を解除するには：
 - PTO スイッチを OFF 位置にし、モアのブレードを停止させます。
 - マスターブレーキペダルを踏み込みます。モアのブレードを再始動させるには、マスターブレーキを解除し、PTO スイッチを OFF にしてから PTO スイッチを ON にします。ブレードが始動します。

OUMX068,000060A-40-20FEB14

モアデッキのフロントアンチスカalpホイールの調整



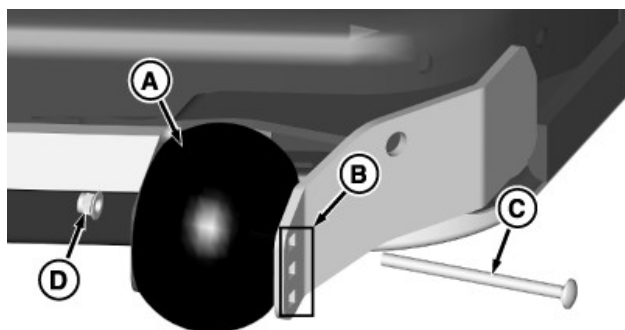
注意：指、ゆったりした衣類、長い髪が回転部品に巻き込まれることがあります。オペレータステーションから離れて機械の調整や整備を行う前に、エンジンおよび可動部が停止するのを待ってください。

注記：すべてのアンチスカalpホイールを地表から離すように調整しないと、一様な刈り作業はできません。モアデッキの高さを変更するたびに、アンチスカalpホイールの調整を点検してください。

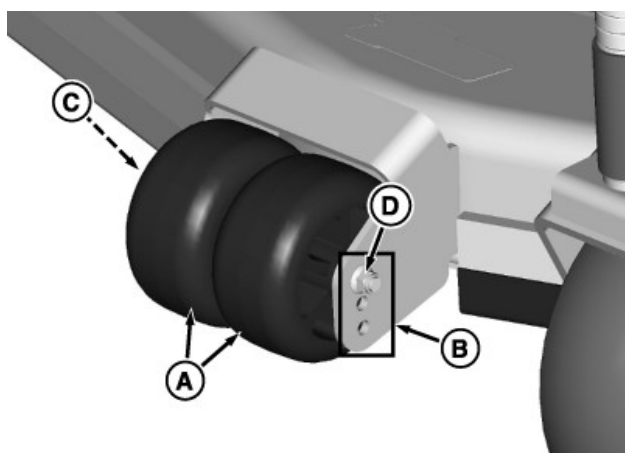
スカuffingを防ぐため、地面からすべてのアンチスカalpホイールを離すことを推奨します。

- 機械のタイヤ空気圧を点検します。タイヤが適切な圧力になるまで空気を入れます。(タイヤ空気圧については、「仕様」セクションを参照してください。)
- モアデッキを必要な刈り高になるよう調整します。

操作



TCT008737—UN—26SEP13



TCT010380—UN—20FEB14

3. アンチスカalpホイール (A) を 3 つの位置 (B) のいずれかに調整します。

- ボルト (C) とナット (D) を取り外します。
- 刈る表面から約 6 ~ 13 mm (1/4 ~ 1/2 in) の高さになるようにホイールを上下に調整します。

4. 取り付け金具でホイールを取り付けます。

5. すべてのホイールを同じ高さに調整します。

OUMX068,000029C-40-20FEB14

モアデッキのリアアンチスカalpホイールの調整

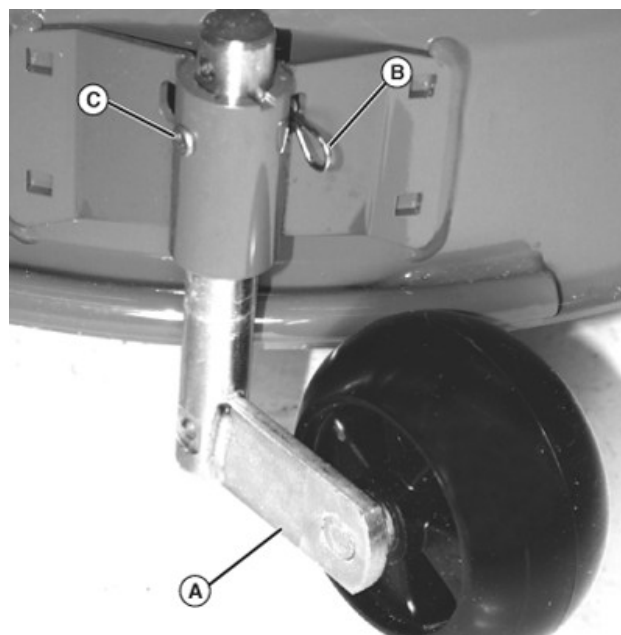
注意： 指、ゆったりした衣類、長い髪が回転部品に巻き込まれることがあります。オペレータステーションから離れて機械の調整や整備を行う前に、エンジンおよび可動部が停止するのを待ってください。

注記：すべてのアンチスカalpホイールを地表から離すように調整しないと、一様な刈り作業はできません。モアデッキの高さを変更するたびに、アンチスカalpホイールの調整を点検してください。

スカフティングを防ぐため、地面からすべてのアンチスカalpホイールを離すことを推奨します。

1. 機械のタイヤ空気圧を点検します。タイヤが適切な圧力になるまで空気を入れます。(タイヤ空気圧については、「仕様」セクションを参照してください。)

2. モアデッキを必要な刈り高になるよう調整します。

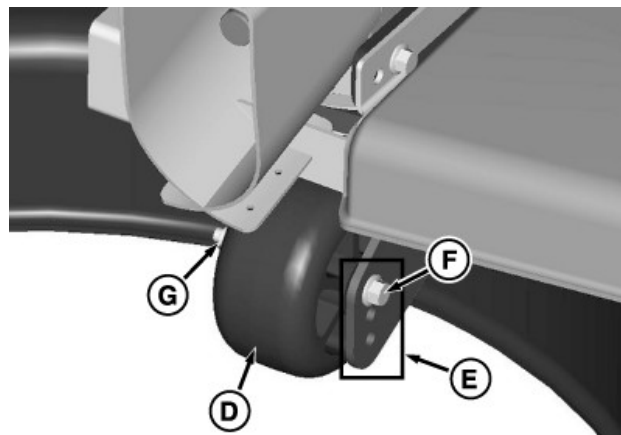


TCAL46568—UN—12APR13

3. コーナーのアンチスカalpホイール (A) を調整します。

- スプリングピン (B) およびドリルピン (C) を取り外します。
- 刈る表面から約 6 ~ 13 mm (1/4 ~ 1/2 in) の高さになるようにホイールを上下に調整します。

注記：60 in デッキにはコーナーホイールが 1 個、72 in デッキには 2 個あります。



TCT010731—UN—27FEB14

4. 中央のアンチスカalpホイール (D) を 3 つの位置 (E) のいずれかに調整します。

- ボルト (F) とナット (G) を取り外します。
- 刈る表面から約 6 ~ 13 mm (1/4 ~ 1/2 in) の高さになるようにホイールを上下に調整します。

5. 取り付け金具でホイールを取り付けます。

6. すべてのホイールを同じ高さに調整します。

OUMX068,0000621-40-27FEB14

整備間隔

整備間隔

機械の整備

重要： 損傷を防止してください。高圧洗浄を行うと作業機の部品が損傷するおそれがあります。

極端な条件での運転により、整備間隔の短縮が必要になる場合があります。

- 極端な熱、ほこり、またはその他の過酷な条件で運転しているときは、エンジン部品の汚損や詰まりが発生することがあります。
- 機械を低速または低エンジン回転数で継続的に、または短期間頻繁に運転した場合、エンジンオイルが劣化する可能性があります。

次のタイムテーブルを参照して機械の定期メンテナンスを行ってください。

OUMX068,00003B8-40-26OCT13

初期慣らし運転

- キャスターホイールピボットにグリースを塗布します。
- キャスターホイールの車軸にグリースを塗布します。
- モアデッキのブレードのスピンドルにグリースを塗布します。
- PTO シャフトにグリースを塗布します (5 か所)。
- モアデッキレベルを点検します。

OUMX068,0000615-40-27FEB14

毎回使用前

- ベルトシールドを取り外し、ドライブベルトを清掃して点検します。
- 部品に緩み、欠損、損傷がないか点検します。
- 必要に応じて、刈り高とゲージホイールを調整します。
- モアデッキのブレードを点検します。

OUMX068,0000610-40-24FEB14

使用后

- モアシステムから屑を取り除きます。
- 機械のエンクロージャシールド (157.5 cm [62 in] 183 cm [72 in] RD デッキ) 周辺に堆積した草を清掃します。
- 洗浄後、デッキを潤滑します。
 - キャスターホイールピボットにグリースを塗布します。
 - キャスターホイールの車軸にグリースを塗布します。
 - アンチスカルプホイール (152 cm [60 in] および 183 cm [72 in] SD デッキ) にグリースを塗布します。

h2ac9y3,1655733454320-40-20JUN22

最初の 10 時間後

- モアデッキのベルトの張力を調整します。

OUMX068,0000611-40-24FEB14

25 時間ごと

- PTO シャフトにグリースを塗布します (5 か所)。

OUMX068,0000616-40-24FEB14

50 時間ごと

- キャスターホイールのタイヤを点検します。
- モアデッキのスピンドルにグリースを塗布します。

OUMX068,0000612-40-24FEB14

100 時間ごと

- モアデッキのベルトの張力を調整します。
- モアデッキのギアボックスオイルレベルを点検します。

OUMX068,00003B7-40-24FEB14

250 時間ごと

- キャスターホイールのサポートアームのプッシングを点検し、摩耗している場合は交換します。

OUMX068,0000613-40-24FEB14

500 時間ごと

- ギアボックスオイルを交換します。

OUMX068,0000614-40-24FEB14

潤滑関連の整備

グリース

重要： 損傷を防止してください。部品の故障や早期摩耗を回避するために、推奨される John Deere グリースを使用してください。

推奨 John Deere グリースは、平均気温 -29 ~ 135°C (-20 ~ 275°F) の範囲で有効です。

この温度範囲外で運転する場合は、特殊用途グリースについて整備取扱店にお問い合わせください。

以下のグリースをお勧めします：

- John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease
- Grease-Gard™ Premium Plus

注記： すべての種類のグリースに互換性があるわけではありません。John Deere はグリースを混合することはお勧めしません。推奨されているグリース以外の製品を整備で使用する場合は、使用前に、残っているグリースをシステムからパージしてください。これができない場合は、古いグリースがシステムからすべてパージされるまではグリースの注入頻度を 2 倍にしてください。

推奨グリースを使用していない場合は、NLGI Grade 2 の一般的な汎用グリースを使用していることを確認してください。

湿潤または高速条件では、特殊用途用のグリースを使用しなければならない場合があります。詳しくは、整備販売店にお問い合わせください。

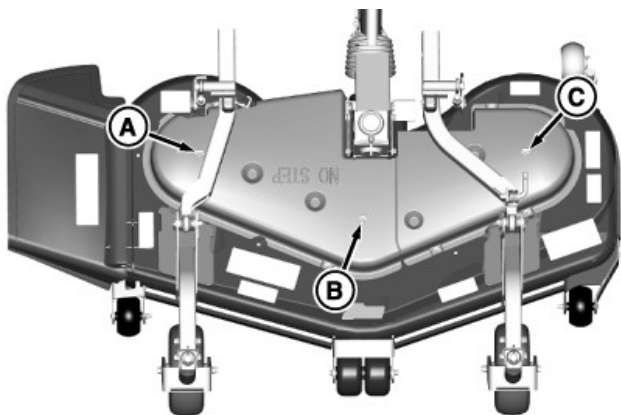
注記： 一部の種類のグリース増ちょう剤は他のものと混合できません。種類の違うグリースを混合する前に、グリースサプライヤにお問い合わせください。

h2ac9y3,1655816592108-40-20JUL22

モアのブレードのスピンドルの潤滑

1. モアデッキを完全に地表まで下げます。
2. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

潤滑関連の整備



TCT008738—UN—26SEP13

3. 推奨グリースで、ベルトシールド (A、B、C) の穴から 3 つのモアデックスピンドルを潤滑します。
4. 各スピンドルにつき、グリースガンで 6～10 回注入します。シールから空気が押し出されると、小さな音が聞こえます。グリースを塗布しすぎても損傷することはありません。しかしブレードから飛び散る場合があるため、グリースを塗布しすぎないようにしてください。

OUMX068,00002A0-40-26SEP13

アンチスカンプホイール (60、72 in、SD のみ) の潤滑



TCAL46570—UN—12APR13

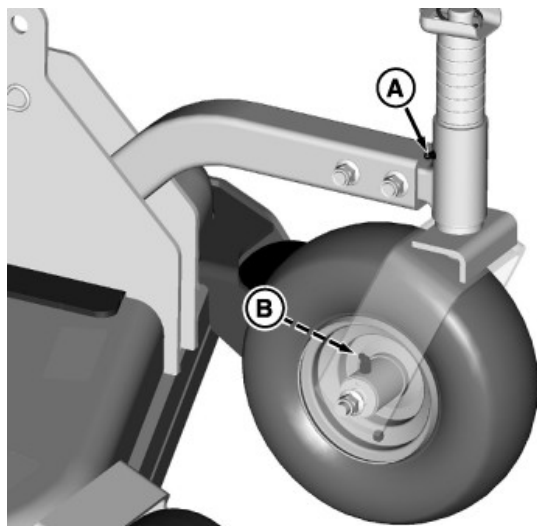
1. 車軸 (B) からグリースが浸み出てくるまで、グリースガンをグリースフィッティング (A) に注入してアンチスカンプホイールにグリースを塗布します。
2. アンチスカンプホイールから余分なグリースを拭き取ります。

OUMX068,00002A1-40-20JUN22

潤滑関連の整備

キャストホイール車軸とピボットの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. モアデッキを完全に地表まで下げます。



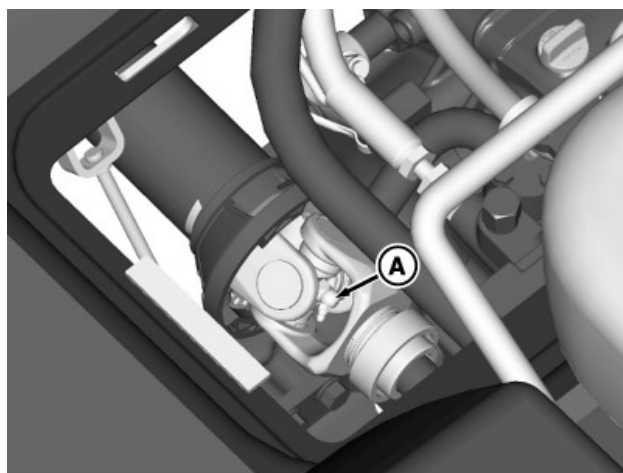
TCT008739—UN—26SEP13

3. 推奨グリースで、モアデッキのキャストホイールピボット (A) を潤滑します。
4. 推奨グリースで、キャストホイールの車軸 (B) を潤滑します。

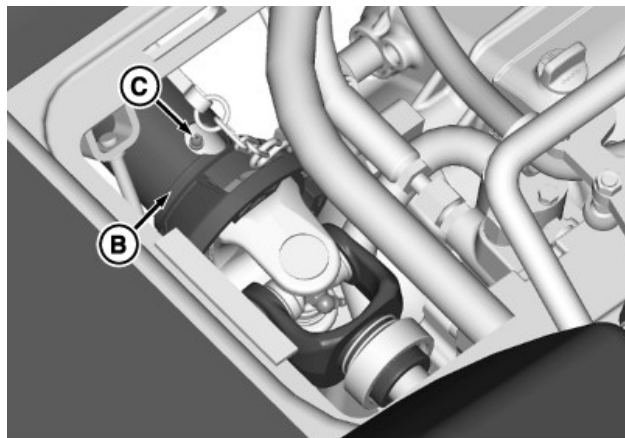
OUMX068,0000623-40-28FEB14

PTO ドライブシャフトの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

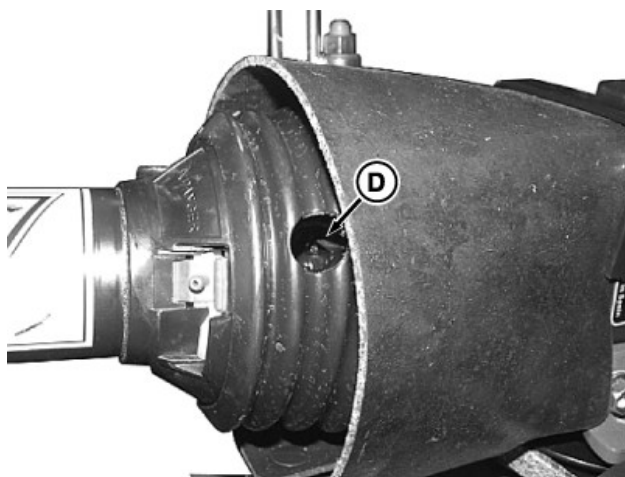


TCT008956—UN—26SEP13



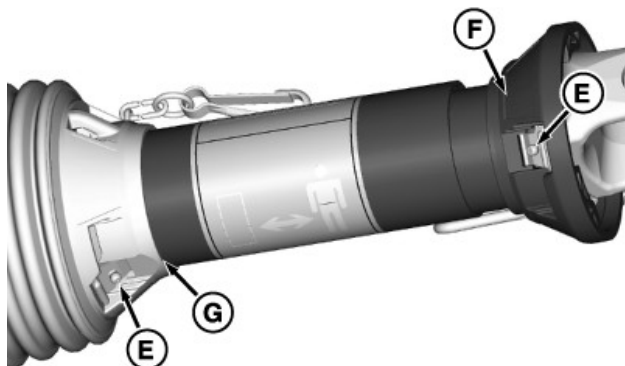
TCT008957—UN—26SEP13

2. 機械の整備用ハッチを開きます。
3. グリースフィッティング (A) が上に向くまで、PTO ドライブシャフトを手で回します。
4. グリースフィッティング (C) が上に向き、ガードの穴から見えるまで、PTO ドライブシャフトとシャフトガード (B) を回します。
5. グリースフィッティングにグリースガンを設置し、ユニバーサルジョイント内部の 4 個のベアリングキャップの内側からグリースが浸み出るまで、グリースガンで注入します。



TCT008958—UN—26SEP13

6. ユニバーサルジョイント内部のグリースフィッティングがシールドの穴 (D) から見えるまで、手で PTO ドライブシャフトを回します。
7. ユニバーサルジョイント内部のベアリングキャップからグリースが浸み出るまで、グリースをフィッティングに注入します。



TCT010732—UN—27FEB14

モアの整備

- 内側 (F) と外側 (G) のシャフトガードにあるグリースフィッティング (E) にグリースを注入します。
- 機械の整備用ハッチを閉じ、ロックします。

OUMX068,00002A3-40-28FEB14

モアの整備

モアデッキの清掃

重要： 損傷を防止してください。高圧洗浄を行うと作業機の部品が損傷するおそれがあります。

毎回使用前にデッキシールドの下とエンジンルームの中を清掃し、機械に草が堆積しないようにしてください。

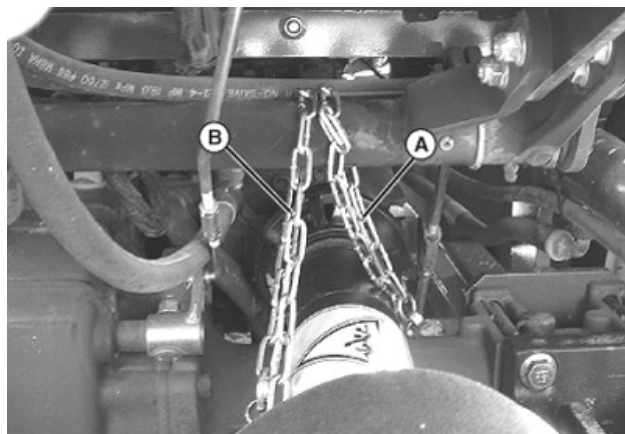
- モアデッキからベルトシールドを取り外し、ベルトとシーブの周囲から草や屑を取り除きます。
- 62 in 後面排出型デッキを装着した機械では、シートのプラットフォームを上げ、エンジンカバーを開けて、エンジンルームから草や屑を取り除きます。

OUMX068,00003B9-40-26OCT13

モアデッキの回転

整備時のモアデッキの回転

- モアデッキを完全に上げます。
- 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

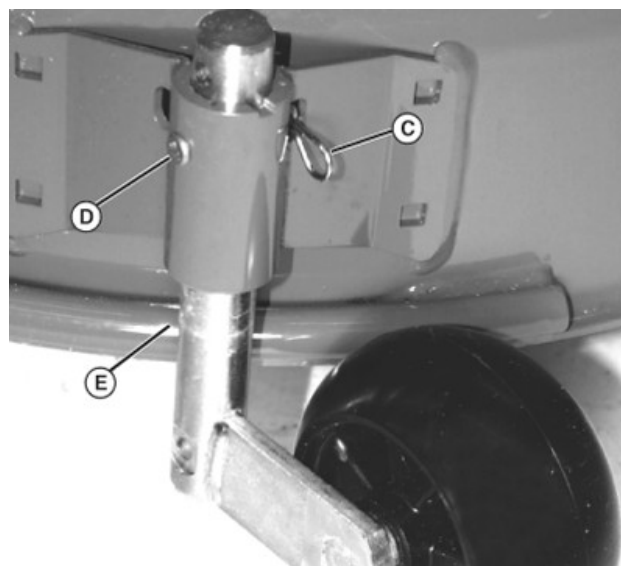


TCAL46574—UN—12APR13

- フロント (A) とリア (B) のドライブシャフトのシールドのチェーンをブレーキクロスシャフトから取り外します。

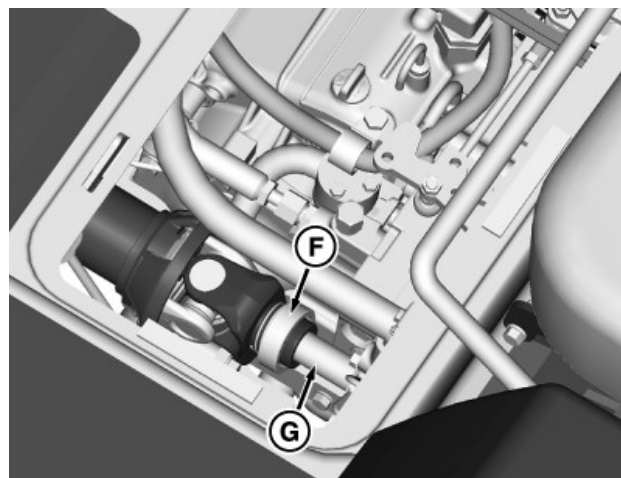
注意： 整備用ラッチをかけます。油圧が失われると、モアデッキが落下するおそれがあります。

- 整備用ラッチをかけます。



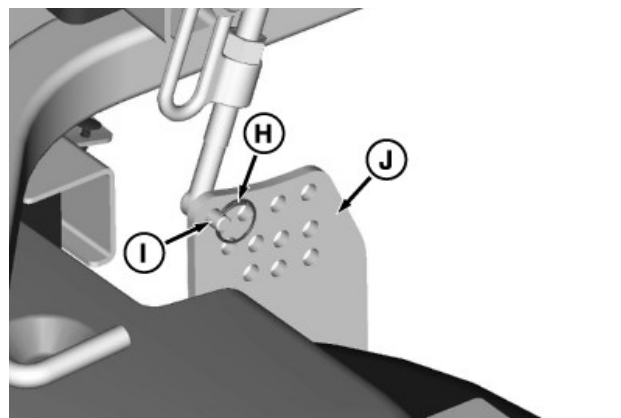
TCAL46575—UN—12APR13

- 60 および 72 in モアデッキのみ：アンチスカalpホイールブラケット (E) をモアデッキの左側に保持しているドリルピン (D) からスプリングピン (C) を取り外します。
- アンチスカalpホイールをモアデッキから取り外します。



TCT008959—UN—26SEP13

- 機械の整備用ハッチを開きます。
- モアデッキの PTO ドライブシャフトにあるカプラーリング (F) を前に引っ張ります。機械の PTO アウトプットシャフト (G) のドライブシャフトを引き抜きます。



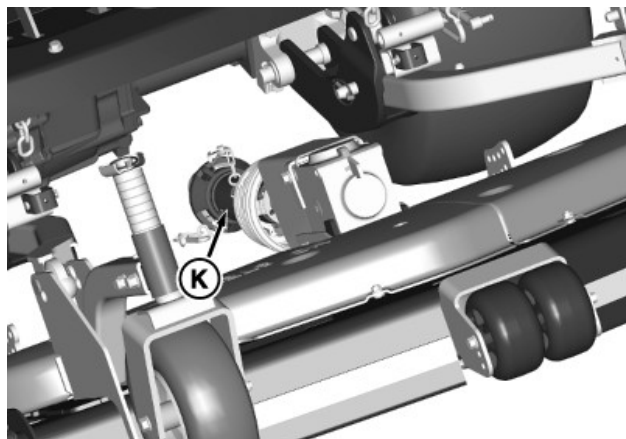
TCT008960—UN—27FEB14

- 固定リング (H) をハンガーピン (I) から取り外します。

モアの整備

注記：モアデッキを元の刈り高に戻すため、ハンガーピンを取り外す前に、ハンガーピンが取り付けられていた穴の位置をメモしておきます。

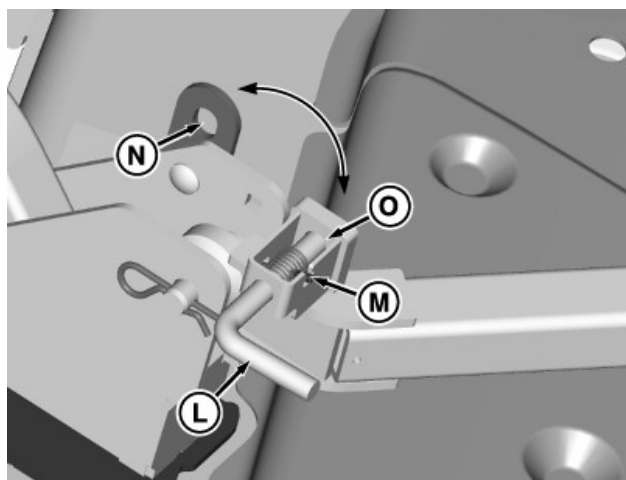
- ハンガーピンを調整プレート (J) の穴から取り外します。
- モアデッキの反対側でも繰り返します。



TCT008961—UN—26SEP13

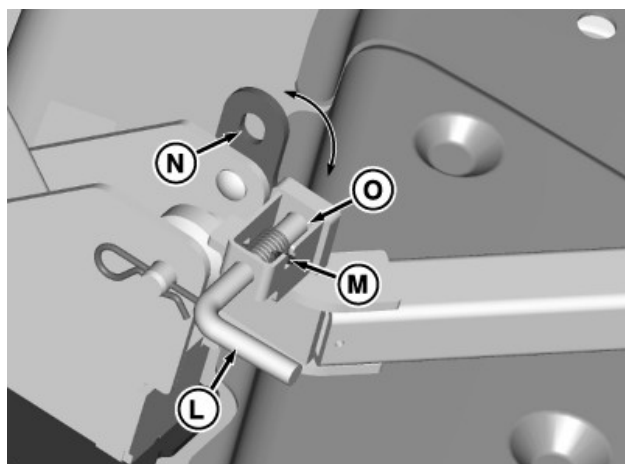
- モアデッキ後部を地表まで下げます。PTO ドライブシャフト (K) がフロント車軸から落ちます。

注記：上部ストップや小型車両のタイヤに対応させるには、整備用回転ブラケット (N) を後方位置にします。この調整は、取扱店での設定時にモアデッキを車両に取り付けた状態で行ってください。



TCT008962—UN—27FEB14

図：整備用回転ブラケットが前方位置の場合。



TCT010742—UN—17MAR14

図：整備用回転ブラケットが後方位置の場合。

- モアデッキの整備用ロックハンドル (L) を外側に引き、スプリングが圧縮されてピン (M) がスロットに固定されるまで後に回します。
- デッキのブラケット (N) の穴が整備用ロックの穴 (O) とそろうまで、モアデッキを後に回します。
- 整備用ロックハンドル (L) を前に回し、ピンをデッキのブラケットの穴 (N) に伸ばします。

作業時のモアデッキの回転

- モアデッキの整備用ロックをデッキのブラケットから引き出します。
- モアデッキのドライブシャフトが地面に当たらないようにしながら、デッキを前に回します。
- モアデッキのドライブシャフトを機械のフロント車軸の上に通し、トランスアクスルにある機械の PTO アウトプットシャフトに接続します。
- フロントとリアのドライブシャフトのシールドのチェーンをブレーキクロスシャフトに取り付けます。モアデッキを移動範囲まで昇降させた時にたるみが最も小さくなるようにチェーンを調整します。
- モアデッキを水平位置に回します。
- リアハンガーピンを目標の刈り高に対応したリア調整プレートの穴に取り付けます。
- 固定リングを左右のハンガーピンに取り付けます。
- アンチスカンプホイールをモアデッキに取り付けます。
- 整備用ラッチのロックを解除します。
- モアデッキを地表まで下げます。
- アンチスカンプホイールを水平な地面から 6 mm (1/4 in) に調整します。

OUMX068,00002A4-40-17MAR14

ベルトシールドの取り外しと取り付け

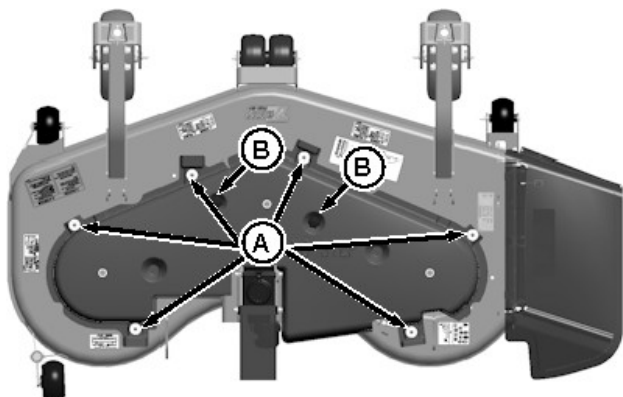
注意：けがを防止してください。指、ゆったりした衣類、長い髪が回転部品に巻き込まれることがあります。運転プラットフォームから離れて機械の調整や整備を行う前に、エンジンおよび可動部が停止するのを待ってください。

注記：ベルトシールドの取り外しと取り付けの手順は、すべてのデッキサイズで同じです。

モアの整備

取り外し

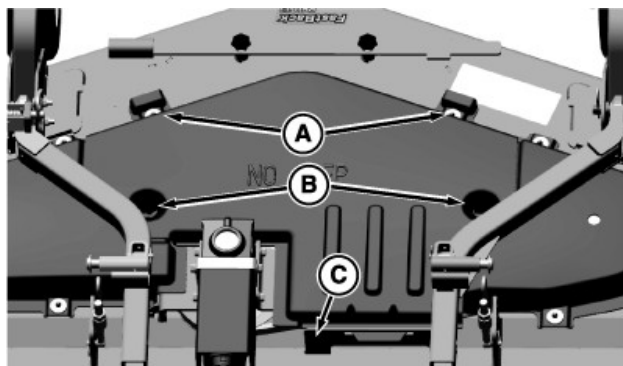
1. モアデッキを整備時の位置に回すか、モアデッキを機械から取り外します。



図：60 in 側方排出型モアデッキの場合。

TCT011350—UN—05OCT15

2. ベルトシールドをモアデッキに固定している固定スナップ 6 個 (A) とノブ 2 本 (B) を取り外します。



図：図は、72 in リアディスチャージモアデッキ

TC102123—UN—27JUN22

3. (72 in, RDのみ) 3 ピースベルトシールドの中央の部分で、固定スナップ 2 個 (A) のフックを外して、ベルトシールドをモアデッキに固定しているノブ 2 個 (B) を取り外します。タブをスロット (C) からスライドさせます。
4. ベルトシールドを持ち上げて、取り付けスタッドボルトから外します。

取り付け

1. (72 in, RDのみ) タブをスライドさせてスロット (C) に入れます。
2. ベルトシールドを取り付け、固定スナップ 6 個 (72 in, RD 用に 2 個) (A) を留めます。
3. 2 つのノブ (B) を取り付けます。

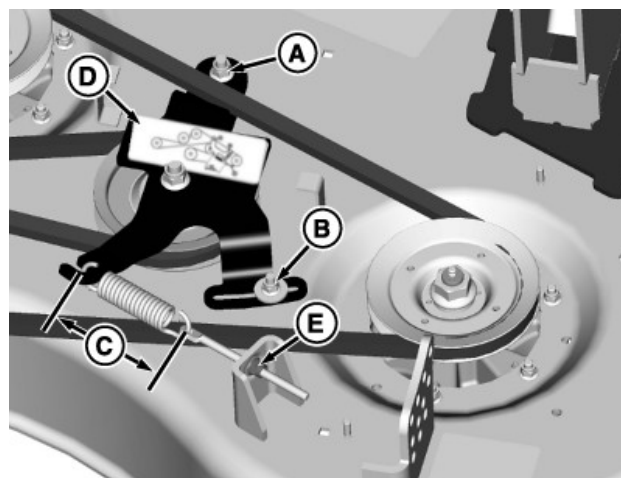
注意： けがを防止してください。指や衣服が回転部品に巻き込まれるおそれがあります。すべてのシールドが取り付けられていない状態で機械を操作しないでください。

4. モアデッキを交換するか、作業位置にモアデッキを回します。

h2ac9y3,1656327873040-40-29JUN22

ドライブベルトの張力の調整

1. モアデッキのベルトシールドを取り外します。
2. モアデッキを地表まで下げます。
3. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



60 in 側面排出型デッキの場合。他のデッキも同様。

TCT008966—UN—27FEB14

4. ナット (A, B) を緩めます。
5. フックからフックまでのベルト張力スプリングの長さ (C) を測定します。
 - アイドラームのラベル (D) の記載に従って長さを調整します。
6. ベルト張力スプリングが適正な長さになるまでナット (E) を調整します。
7. ナット (A, B) を締め付けます。
8. ベルトシールドを取り付けます。

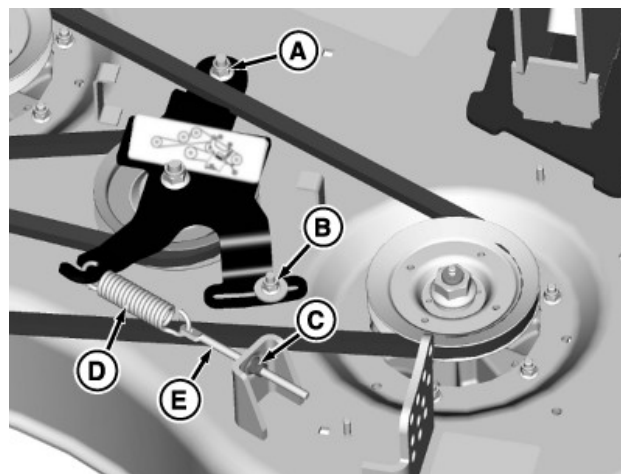
OUMX068,00002A6-40-06OCT13

ドライブベルトとギアボックスの取り外しと取り付け (GLC デッキ以外)

注記：特に指示されている場合を除き、ドライブベルトとギアボックスの取り外しと取り付けの手順はすべてのデッキサイズで同じです。

取り外し

1. モアデッキを地表まで下げます。
2. モアデッキのベルトシールドを取り外します。
3. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

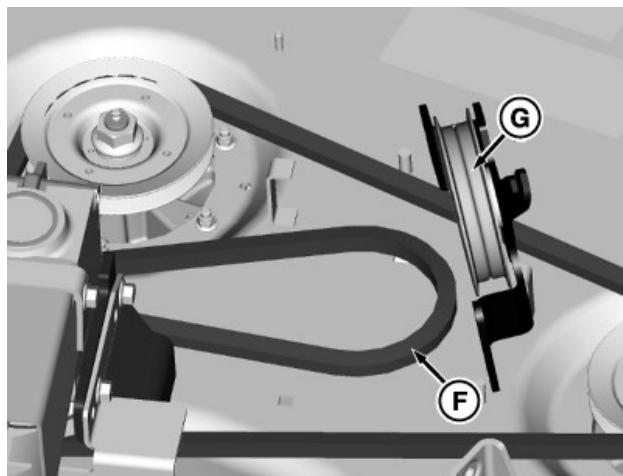


図：60 in 側面排出型デッキの場合。

TCT008967—UN—27FEB14

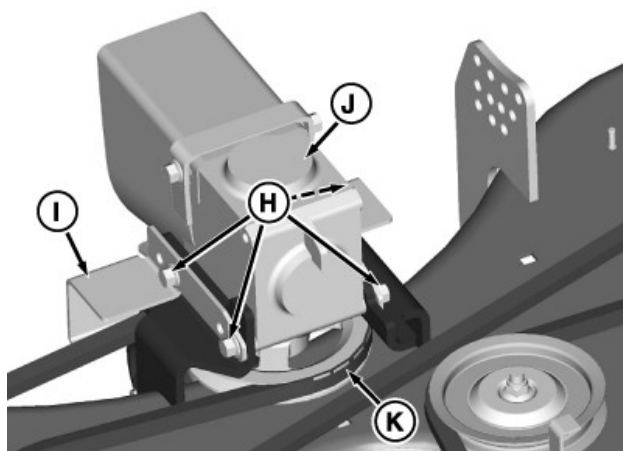
モアの整備

4. ナット (A、B) を緩めます。
5. ナット (C)、張力スプリング (D) およびロッド (E) をモアデッキから取り外します。
6. ナットと座金を (A) と (B) から取り外します。



図：60 in 側面排出型デッキの場合。

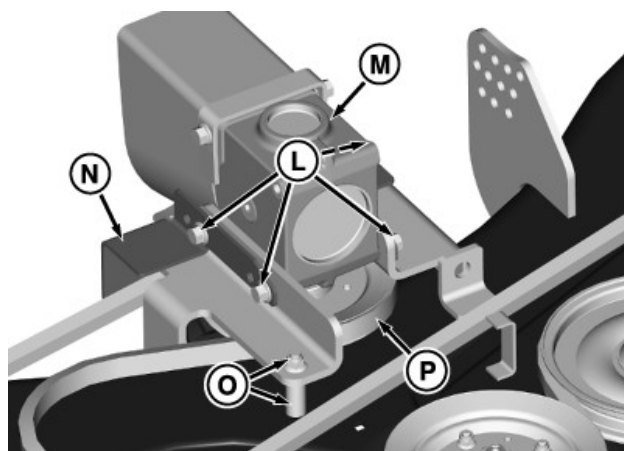
7. ドライブベルト (F) をベルトテンショナのシーブ (G) から取り外します。



図：60 in 側面排出型デッキの場合。

8. 60 in 側面排出型および 62 in 後面排出型デッキ：

- a. ガードブラケット (I) とギアボックス (J) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト 4 本 (H) を取り外します。
- b. ギアボックスを取り付けブラケットからスライドさせて出します。
- c. ドライブベルト (K) をシーブから取り外します。



図：72 in 側面排出型デッキの場合。

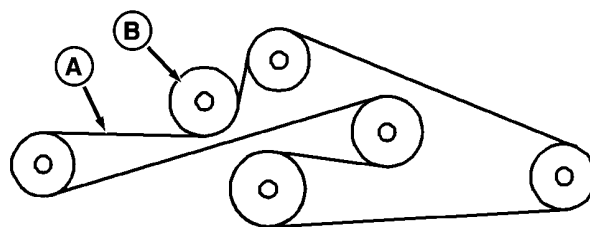
9. 72 in 側面排出型デッキの場合：

- a. ギアボックス (M) とガードブラケット (N) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト 4 本 (L) を取り外します。
- b. ボルトとサポートブッシング (O) を取り外します。
- c. ギアボックスを取り付けブラケットからスライドさせて出します。
- d. ドライブベルト (P) をシーブから取り外します。

取り付け

取り付けは、取り外しと逆順に行います。

注記：モアデッキのアイドラームのベルトの取り回り図を参照してください。



図：デッキの後方から見た場合。

1. ドライブベルト (A) をモアデッキのシーブの周りに通します。
2. シーブ (B) のナットを緩め、ベルトを取り付けやすくします。
3. ギアボックスとガードブラケットをボルト 4 本で固定します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ギアボックスのボルト：トルク..... 73 N·m (54 lb·ft.)

4. 183 cm (72 in) デッキのみ：サポートブッシング、ボルト、およびナットを取り付けます。
5. モアデッキのドライブベルトの張力を調整します。(このセクションの「ドライブベルトの張力の調整」を参照してください。)

OUMX068.0000316-40-28FEB14

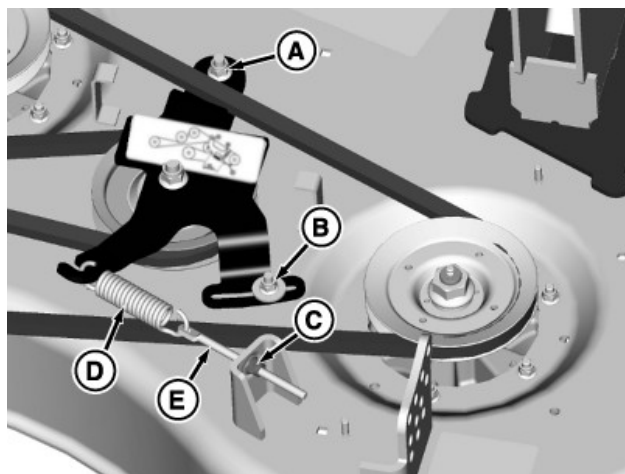
モアの整備

ドライブベルトとギアボックスの取り外しと取り付け (GLC デッキ)

注記：特に指示されている場合を除き、ドライブベルトとギアボックスの取り外しと取り付けの手順は両方の GLC デッキで同じです。

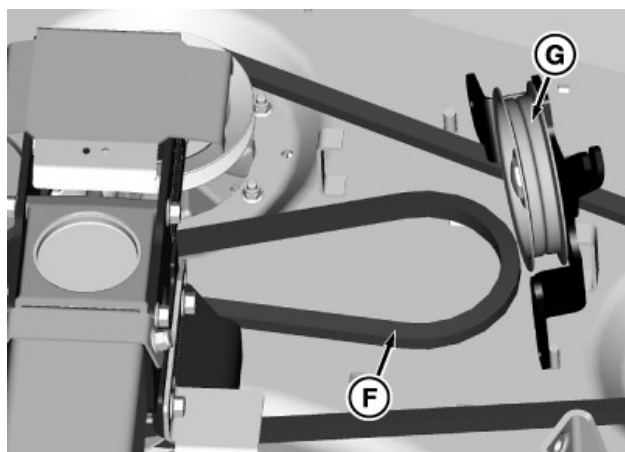
取り外し

1. モアデッキを地表まで下げます。
2. モアデッキのベルトシールドを取り外します。
3. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



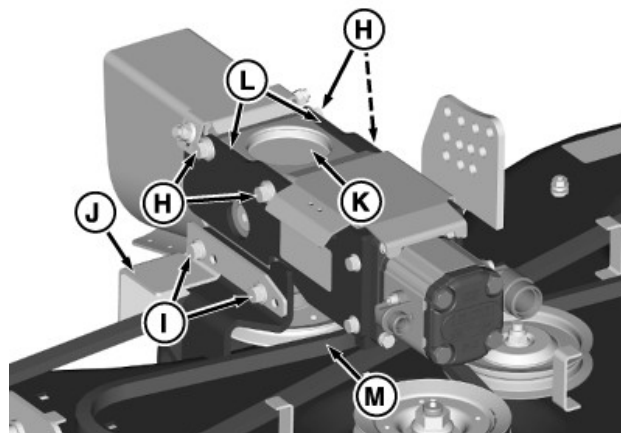
図：60 in GLC 側面排出型デッキの場合。

4. ナット (A、B) を緩めます。
5. ナット (C)、張力スプリング (D) およびロッド (E) をモアデッキから取り外します。
6. ナットと座金を (A) と (B) から取り外します。



図：60 in GLC 側面排出型デッキの場合。

7. ドライブベルト (F) をベルトテンションのシーブ (G) から取り外します。

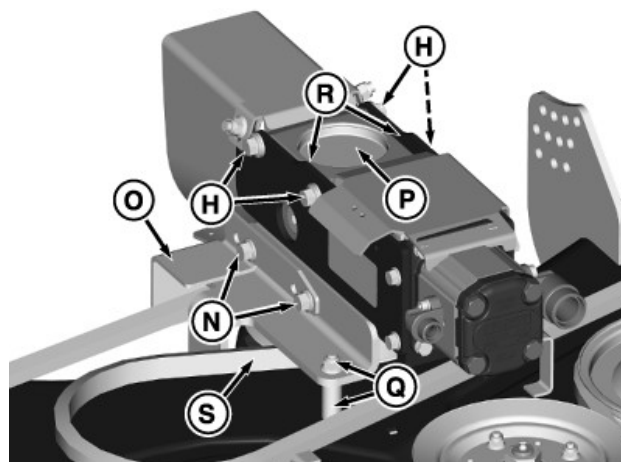


図：60 in GLC 側面排出型デッキの場合。

8. 60 in GLC デッキ：

重要： 損傷を防止してください。この手順を行っている間、上部の4本のボルト (H) を緩めたり取り外さないでください。ボルトを緩めると、ポンプのカプラーのアライメントが狂います。

- a. ガードブラケット (J) とギアボックス (K) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト4本 (I) を取り外します。
- b. ギアボックスとポンプ取り付けブラケット (L) を取り付けブラケットからスライドさせて出します。
- c. ドライブベルト (M) をシーブから取り外します。



図：72 in GLC 側面排出型デッキの場合。

9. 72 in GLC デッキ：

重要： 損傷を防止してください。この手順を行っている間、上部の4本のボルト (H) を緩めたり取り外さないでください。ボルトを緩めると、ポンプのカプラーのアライメントが狂います。

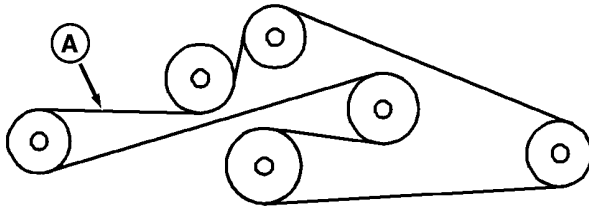
- a. ガードブラケット (O) とギアボックス (P) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト4本 (N) を取り外します。
- b. ボルトとサポートブッシング (Q) を取り外します。
- c. ギアボックスとポンプ取り付けブラケット (R) を取り付けブラケットからスライドさせて出します。
- d. ドライブベルト (S) をシーブから取り外します。

モアの整備

取り付け

取り付けは、取り外しと逆順に行います。

注記：モアデッキのアイドルアームのベルトの取り回し図を参照してください。



図：デッキの後方から見た場合。

TCT008976—UN—07OCT13

1. ドライブベルト (A) をモアデッキのシーブの周りに通します。
2. シーブ (B) のナットを緩め、ベルトを取り付けやすくします。
3. ギアボックスとガードブラケットをボルト 4 本で固定します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

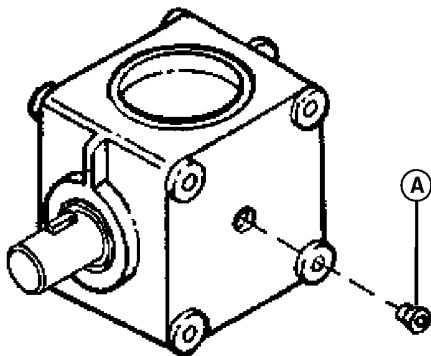
ギアボックスのボルト：トルク..... 73 N·m (54 lb.-ft.)

4. **183 cm (72 in) GLC デッキのみ**：サポートブッシング、ボルト、およびナットを取り付けます。
5. モアデッキのドライブベルトの張力を調整します。(このセクションの「ドライブベルトの張力の調整」を参照してください。)

OUMX068,0000318-40-28FEB14

ギアボックスオイルレベルの点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. モアが作業位置で水平になっていることを確認します。



基準方向から見た場合。

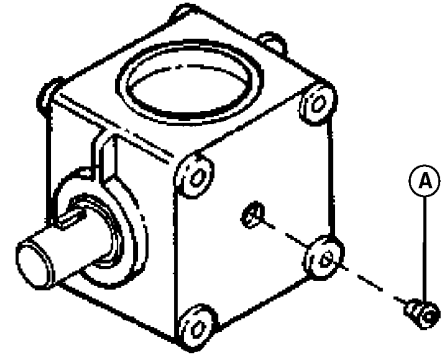
TCAL46590—UN—12APR13

3. 点検プラグ (A) を取り外します。オイルは穴の底部と同じ高さになるようにします。
4. 必要に応じて、点検プラグの穴からオイルを追加します。
5. 点検プラグを取り付けて締め付けます。

OUMX068,00007D5-40-29MAY14

ギアボックスオイルの交換

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. ドライブベルトとギアボックスを取り外します。



基準方向から見た場合。

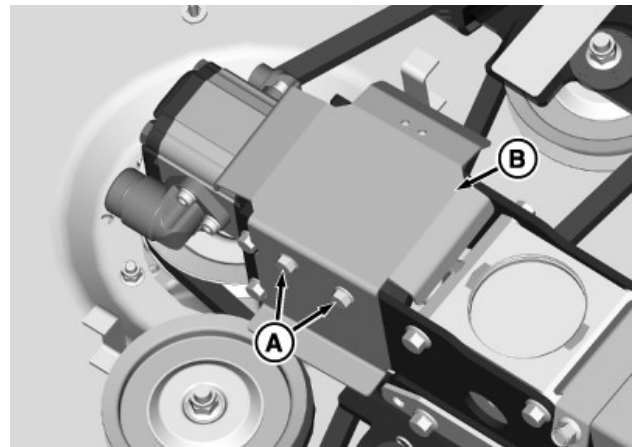
TCAL46591—UN—12APR13

3. 点検プラグ (A) を取り外し、ギアボックスを横の適切な容器の上に傾け、ギアボックスオイルを完全にドレンします。
4. ギアボックスとドライブベルトを取り付けます。
5. オイルが穴の底部と同じ高さになるまで点検プラグの穴からオイルを追加します。
6. 点検プラグを取り付けて締め付けます。

OUMX068,00002A9-40-26OCT13

ギアボックスオイルの交換 (GLC デッキ)

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. ベルトシールドを取り外します。
3. ドライブベルトをギアボックスから取り外します。

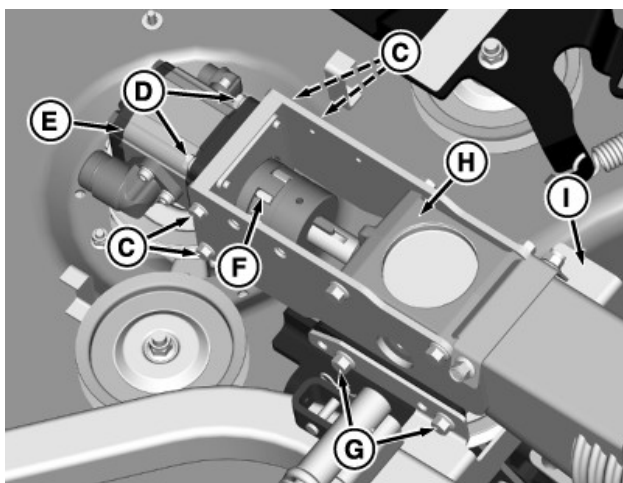


TCT009184—UN—26OCT13

4. ボルト 2 本 (A) と保護カバー (B) を取り外します。

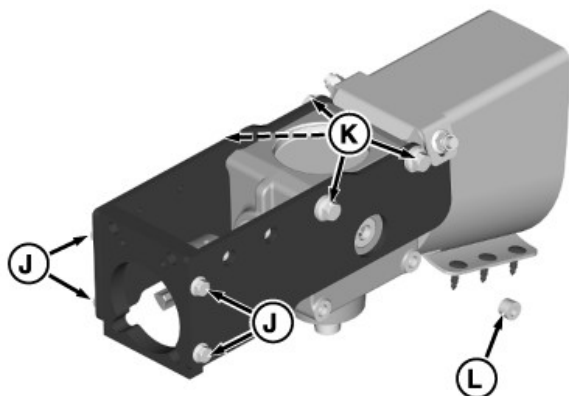
重要： 損傷を防止してください。ポンプ取り付けブラケットのボルト (C) は取り外さないでください。ポンプ取り付けブラケットは、カブラーのアライメントが狂うのを防止するため、製造時に方向調整されています。

モアの整備



TCT009186—UN—27FEB14

5. 4本のポンプ取り付けボルト (D) を取り外します。
6. ポンプ (E) をギアボックスから取り外します。カブラーの半分とスパイダー (F) がポンプとともに外れます。
7. ギアボックス (H) とシールド (I) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト 4 本 (G) を取り外します。カブラーの半分がギアボックスとともに外れます。



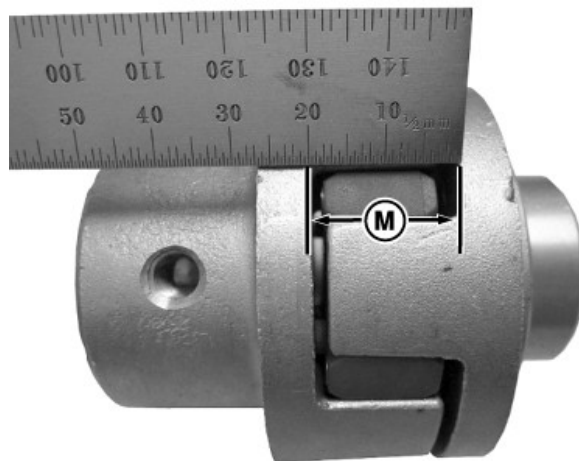
TCT009185—UN—27FEB14

8. 点検プラグ (L) を取り外し、ギアボックスを横の適切な容器の上に傾けます。ギアボックスオイルを完全にドレンします。

注記： ポンプ取り付けブラケットを取り外したり緩めないでください。オイルの交換は、ボルト (J) やギアボックス上部のボルト 4 本 (K) に触れないように行う必要があります。

重要： 損傷を防止してください。カブラーを交換する際は、スパイダーも交換する必要があります。

9. ギアボックスのカブラーとポンプのシャフトを点検します。必要に応じて交換します。
10. ベルトをシーブの周りに巻きます。ギアボックスサブアセンブリとシールドブラケットを取り付けます。
11. オイルが穴の底部と同じ高さになるまで点検プラグの穴からオイルを追加します。
12. 点検プラグを取り付けて締め付けます。



TCT010743—UN—17MAR14

13. ギアボックスでカブラー半部分をアライメントのガイドとして使用し、ポンプをカブラー半分とスパイダーとともに取り付けます。カブラー半部分の間の隙間 (M) が基準値になっていることを確認します。

仕様

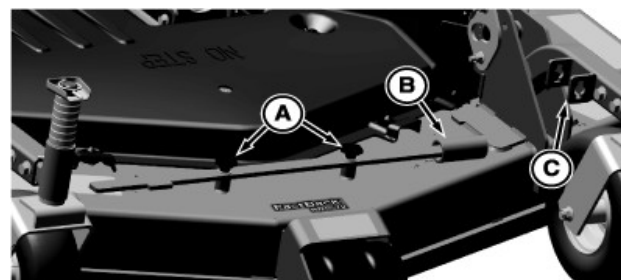
カブラー半分：隙間..... 20 mm (0.787 インチ)

14. 保護カバーを取り付けます。
15. ベルトシールドを取り付けます。

OUMX068,00003BA-40-17MAR14

ブレードの取り外しと取り付け

1. モアデッキを完全に上げます。
2. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
3. リフトアームの整備用ラッチをかけます。



72 in, RD サービスバー

TC102124—UN—27JUN22

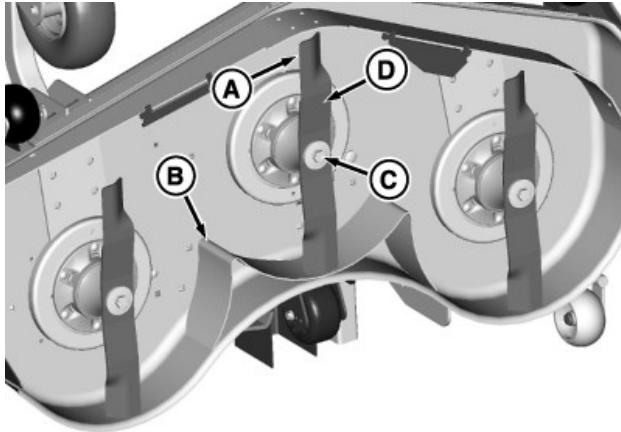
4. (72 in, RDのみ) 整備用バー (B) をモアデッキに固定しているねじ付きノブ 2 個 (A) を緩めます。サービスバーの平らな端をピックアップしてブラケット (C) にスライドさせます。
5. モアデッキを回転させて整備します (72 in, RD モアデッキの場合はサービスバーを使って回転させます)。

注意： けがを防止してください。回転しているブレードは危険です。モアの調整や整備の前に：

- エンジンが急に始動しないように、スパークプラグワイヤまたはバッテリーのマイナス (-) ケーブルの接続を外してください。
- モアブレードの取り扱い時、またはブレードの近くで作業するときは、必ず手袋を着用してください。

- 6.

トラブルシューティング



TCT010387—UN—24FEB14

ブレード (A) の端とデッキ (B) の端の間に木製ブロックを入れて、ブレードの金具の取り外しの際にブレードが回転しないようにします。

7. ボルトを反時計回りに回し、ボルトと座金 (C) を取り外します。ブレード (D) をスピンドルから取り外します。整備を要するすべてのブレードについて繰り返します。
8. ブレードに損傷がないか点検します。損傷しているブレードはすべて交換します。
9. 鈍くなったブレードを研ぎます。
10. ブレード、スピンドル、および金具を清掃します。
11. ブレードのバランスを調整します。
12. ブレードのウイングが上に向くようにして、ブレードをモアデッキのスピンドルに取り付けます。
13. 座金のカップ側をブレードに当てて、ブレードのボルトと座金を取り付けます。ブレードのボルトを規定のトルクで締め付けます。他のブレードについても繰り返します。

仕様

ブレードボルト : トルク 122 Nm (90 lb-ft)

14. モアデッキを完全に下げます。

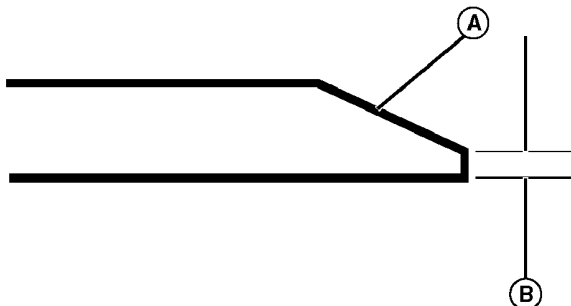
h2ac9y3,1656331915067-40-29JUN22

ブレードの研ぎ

注意 : けがを防止してください。ブレードは鋭利です。ブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する場合は、必ず手袋を着用してください。

研磨作業を行なう時は、必ず目の保護具を着用してください。

- ブレードの研ぎには、グラインダー、やすり、または電動のブレードシャープナーを使用してください。



TCAL46593—UN—12APR13

- 研磨時は元の先端の斜角 (A) を残します。

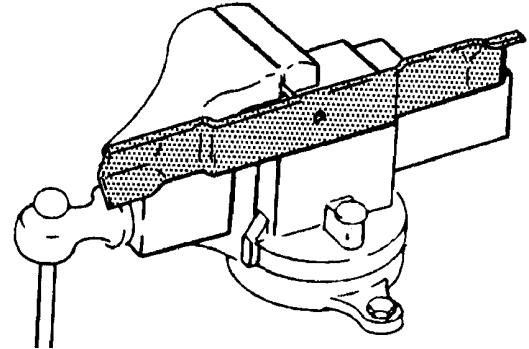
- ブレードの刃先は0.40 mm (1/64 in) 未満にする必要があります。
- ブレードを取り付ける前にバランス調整を行います。

OUMX068,00002AB-40-01DEC13

ブレードのバランス調整

注意 : けがを防止してください。ブレードは鋭利です。ブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する場合は、必ず手袋を着用してください。

1. ブレードを清掃します。



TCAL46594—UN—12APR13

2. ブレードを万力のツメに置きます。ブレードを水平にします。
3. バランスを点検します。バランスが取れていない場合、重い方の端が下がります。
4. 重い方の端部の斜角を研削します。ブレードの斜角を変えないでください。

OUMX068,00002AC-40-01DEC13

トラブルシューティング

トラブルシューティング表の使用

この表に掲載されていない問題が発生している場合は、整備についてテクニカルマニュアルを参照するか、正規販売店にお問い合わせください。

MP47322,00F467B-40-03AUG23

仕様

60 in モアデッキ (側面排出型)

刈り高の範囲 25 ~ 152 mm (1 ~ 6 in)
ウェイト 184 kg (405 lb)
刈り幅 152.4 cm (60 in)
全幅 186.7 cm (73.5 in)

OUMX068,0000209-40-04OCT13

60 in GLC モアデッキ (側面排出型)

刈り高の範囲 25 ~ 152 mm (1 ~ 6 in)
ウェイト 189 kg (416 lb)

仕様

刈り幅..... 152.4 cm (60 in)
全幅..... 186.7 cm (73.5 in)

OUMX068,000020A-40-17MAR14

62 in モアデッキ (後面排出型)

刈り高の範囲..... 25 ~ 152 mm (1 ~ 6 in)
ウエイト..... 180 kg (397 lb)
刈り幅..... 157.5 cm (62 in)
全幅..... 163.8 cm (64.5 in)

OUMX068,000020B-40-04OCT13

72 in モアデッキ (側面排出型)

刈り高の範囲..... 25 ~ 152 mm (1 ~ 6 in)
ウエイト..... 224 kg (493 lb)
刈り幅..... 182.9 cm (72 in)
全幅..... 218.4 cm (86 in)

OUMX068,000020C-40-04OCT13

72 in GLC モアデッキ (側面排出型)

刈り高の範囲..... 25 ~ 152 mm (1 ~ 6 in)
ウエイト..... 229 kg (504 lb)
刈り幅..... 182.9 cm (72 in)
全幅..... 218.4 cm (86 in)

OUMX068,000020D-40-17MAR14

72 in モアデッキ (後方排出型)

刈り高の範囲..... 25 ~ 152 mm (1 ~ 6 in)
重量..... 247 kg (544.5 lb)
刈り幅..... 182.9 cm (72 in)
全幅..... 218.4 cm (86 in)

h2ac9y3,1655731226940-40-20JUN22

タイヤの寸法

キャスターのタイヤ..... 11 x 4-5

AP43109,00002C7-40-15APR13

タイヤ空気圧

機械のタイヤ..... 機械の点検間隔ラベルを確認してください
モアデッキのキャスターのタイヤ..... セミ空気圧式

OUMX068,000020E-40-26OCT13

容量

ギアボックスの容量..... 0.4 L (13.5 oz)

AP43109,00002C9-40-16APR13

推奨潤滑剤

ギアボックスオイル..... GL-5 (90W)
グリース..... 「整備潤滑」セクション参照

AP43109,00002CA-40-15APR13

締め付けトルク

ブレード取り付けボルト..... 122 N·m (90 lb-ft)
ギアボックス取り付けボルト..... 73 N·m (54 lb-ft)
キャスターアームとデッキ間のボルト..... 81 N·m (60 lb-ft)
ドライブシャフトとギアボックス間のボルト... 122 N·m (90 lb-ft)

OUMX068,0000618-40-24FEB14

法規遵守の宣言

法規遵守の宣言

EC 法規遵守の宣言

Deere & Company
Moline, Illinois, U.S.A.

署名者は、以下の内容について誤りがないことを宣言する。

機械の種類：側面排出型モアデッキ (60 in モア輸出モデル)

モデル：1.52 M (60 in)刈り幅

機械の種類：後面排出型モアデッキ (62 in モア輸出モデル)

モデル：1.58 M (62 in)刈り幅

機械の種類：側面排出型モアデッキ (72 in モア輸出モデル)

モデル：1.83 M (72 in)刈り幅

機械の種類：側面排出型 GLC モアデッキ (60 in モア輸出モデル)

モデル：1.52 M (60 in)刈り幅

機械の種類：側面排出型 GLC モアデッキ (72 in モア輸出モデル)

モデル：1.83 M (72 in)刈り幅

機械の種類：後面排出型モアデッキ (72 in モア輸出モデル)

モデル：1.83 M (72 in)刈り幅

シリアル番号：製品識別ページ参照

この機械は、以下の指令の関連するすべての規定および必須の要件を満たしています：

指令	番号	認定方法
機械指令	2006/42/EC	自己認証

技術構造ファイルの編集権限を与えられた欧州共同体担当者の氏名および住所：

John Deer Walldorf GmbH and Co.KG

Customer Support

Impexstraße 3

D-69190 Walldorf

EUConformity@JohnDeere.com

宣言場所：Fuquay-Varina, NC USA

宣言日：2022 年 12 月 1 日

製造ユニット：John Deere Turf Care



DXCE01—UN—28APR09

TCT015240—UN—28MAR17

氏名：Dan Thiemke

役職：Product Engineering Manager, Commercial Mowing

h2ac9y3,1658238181454-40-19JUL22

John Deere 品質に関する声明

UK 法規遵守の宣言

Deere & Company
Moline, Illinois, U.S.A.

署名者は、以下の内容について誤りがないことを宣言する。

機械の種類：側面排出型モアデッキ (60 in モア輸出モデル)

モデル：1.52 M (60 in) 刈り幅

機械の種類：後面排出型モアデッキ (62 in モア輸出モデル)

モデル：1.58 M (62 in) 刈り幅

機械の種類：側面排出型モアデッキ (72 in モア輸出モデル)

モデル：1.83 M (72 in) 刈り幅

機械の種類：側面排出型 GLC モアデッキ (60 in モア輸出モデル)

モデル：1.52 M (60 in) 刈り幅

機械の種類：側面排出型 GLC モアデッキ (72 in モア輸出モデル)

モデル：1.83 M (72 in) 刈り幅

機械の種類：後面排出型モアデッキ (72 in モア輸出モデル)

モデル：1.83 M (72 in) 刈り幅

シリアル番号：製品識別ページ参照

上記の製品は、以下の英国の規制と関連するすべての規定および必須の要件を満たしています：

指令	番号	認定方法
機械の供給 (安全) 規則 2008	S.I. 2008/1597	自己認証

技術構造ファイルの編集権限を与えられた担当者の氏名および住所：

John Deere Walldorf GmbH and Co.KG

Customer Support

Impexstraße 3

D-69190 Walldorf

EUConformity@JohnDeere.com

この法規遵守の宣言はメーカーの責任において発行されています。

宣言場所：Fuquay-Varina, NC USA

宣言日：2022 年 10 月 1 日

製造ユニット：John Deere Turf Care

農業機械 芝生設備製品輸入者：John Deere Ltd- Harby Road, Langar, Nottinghamshire, NG13 9HT

林業用製品輸入者：John Deere Forestry Ltd- Carlisle Airport Industrial Estate, Carlisle, Cumbria, CA6 4NW

UK
CA

TC101783—UN—21FEB21



氏名：Dan Thiemeke

TCT015240—UN—28MAR17

役職：Product Engineering Manager, Commercial Mowing

h2ac9y3,1658238296867-40-19JUL22

John Deere 品質に関する声明

John Deere 品質

John Deere の装置は単に購入するものではなく、品質への投資対象です。この品質は装置を越えて John Deere 取扱店の部品や整備サポートに及びます。このサポートはお客様の満足を維持するうえで必須です。

そのため John Deere は、お客様の質問や問題が発生した場合に対応するプロセスを開始しました。プロセスを進めるうえで以下の 3 つの手順がお客様の役に立ちます。

手順 1

取扱説明書の参照

John Deere 品質に関する声明

- A. 取扱説明書には、お客様の装置の安全で正しい操作に関する多数のイラストおよび詳細情報が記載されています。
- B. トラブルシューティング手順や仕様情報が記載されています。
- C. 部品カタログ、整備、技術マニュアルの注文情報が記載されています。
- D. 取扱説明書で質問の回答が見つからない場合は、手順 2 に進んでください。

手順 2

取扱店への問い合わせ

- A. John Deere 取扱店は、質問に答え、問題を解決し、お客様の部品や整備のニーズを満たす責任、権限、能力があります。
- B. まず、取扱店の熟練した部品や整備の担当者と質問や問題を話し合ってください。
- C. 部品や整備の担当者がお客様の問題を解決できない場合は、販売店の管理者またはオーナーにお問い合わせください。
- D. 取扱店で質問や問題が解決しない場合は、手順 3 に進んでください。

手順 3

John Deere への問い合わせ

- A. 最寄りの John Deere 取扱店は懸案事項に対応する最も効率的なソースですが、取扱説明書を参照し、取扱店に問い合わせても問題を解決できない場合に、John Deere にお問い合わせください。
- B. 適切で効果的な整備を実施するため、電話をかける前に次の情報を用意してください。
 - 対応した取扱店の名前。
 - お使いの装置のモデル番号。
 - 機械の運転時間 (該当する場合)。
 - このマニュアルの表紙の内側に記録したシリアル番号。
 - アタッチメントの問題の場合は、アタッチメントの識別番号。

C. 次に、1-800-537-8233 (米国およびカナダ) までお電話ください。当社のアドバイザーが取扱店と共同で懸案事項を調査します。米国およびカナダ以外の国にお住まいの場合は、以下の Web サイトにアクセスしてご連絡ください：

http://www.deere.com/globalhome/deerecom/global_home.page?CC=true

お住まいの国を選択し、「Contact Us」のリンクをクリックしてください。

SP66632,00043A7-40-28AUG15

索引

P	
PTO、接続.....	21

あ	
アンチスカルブホイール	
フロント、調整.....	21
リア、調整.....	22

き	
ギアボックスオイル	
レベル、点検.....	31
交換.....	31
交換、GLC デッキ.....	31

く	
グリース.....	23

た	
タイヤ空気圧.....	11

と	
ドライブベルト	
取り外しと取り付け	
GLC デッキ.....	30
GLC デッキ以外.....	28
張力、調整.....	28
トラブルシューティング表.....	33

は	
バラスト要件	
1435、1445、1545、1565.....	10
1550、1570、1575、1580、1585.....	11

ふ	
ブレード	
取り外しと取り付け.....	32
ブレード	
バランス調整.....	33
研ぎ.....	33
フロントホイールトラック幅、調整.....	11

へ	
ベルトシールド、取り外しと取り付け.....	27

ほ	
ホイール、モアデッキゲージ	
フロント、調整.....	21
リア、調整.....	22

も	
モアデッキ	
ベルトシールド、取り外しと取り付け.....	27
整備時と作業時の回転.....	26
清掃.....	26
モアデッキ、GLC 以外	
取り外し.....	16
取り付け.....	12
モアデッキレベル	
調整.....	20
点検.....	19

ら	
ラベル、安全説明文なし.....	6

漢字	
安全.....	7
安全な保管.....	17
安全ラベル、テキストなし	
けがの防止とオペレータマニュアルの確認.....	6
位置、62 in 後方排出型.....	6
位置、62 in 後面排出型.....	5
位置、62 in 後面排出型を除く.....	4
回転シャフトやドライブラインによるけがの防止.....	7
回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 (MCS デッキ).....	7
回転ブレードによるけがの防止.....	7
回転ブレードや飛来物によるけがの防止.....	7
飛来物によるけがの防止.....	7
安全ラベル、説明文なし.....	6
刈り高、調整.....	18
交換部品.....	2
潤滑、整備	
PTO ドライブシャフト.....	25
アンチスカルブホイール (60、72 in).....	24
キャスターホイール車軸とピボット.....	25
モアのブレードのスピンデル.....	23
整備間隔	
50 時間ごと.....	23
100 時間ごと.....	23
250 時間ごと.....	23
500 時間ごと.....	23
毎回使用後.....	23
整備用ラッチ、使用.....	17
装置の保管.....	17
点検間隔	
25 時間ごと.....	23
最初の 10 時間後.....	23
初期慣らし運転.....	23
毎回使用前.....	23

